

ナイソー como lite

コモ・ライト

組立説明書

このたびは、「ナイソー」、「コモ・ライト」をお買い上げくださり誠にありがとうございました。
私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。

どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

この製品の組み立てについてご説明いたしますので、必ずお読みください。

組立説明書の基礎・転倒防止工事(アンカー工事)については標準的施工方法とします。

異なる施工をおこなう場合は、予め当社にご相談ください。

なお、ご使用にあたっての注意については、取扱説明書・製品保証書をお読みください。

写真はSMX-3125H

ガラス窓(GSX-3H)はオプション



寸法図
(単位:mm)

機種	W1	W2	D1	D2
SML-1313H	1480	1320	1563	1320
SMX/SML-1913H	2060	1900	2143	1900
SMX/SML-1919H			1563	1320
SMX/SML-2513H	2640	2480	2143	1900
SMX/SML-2519H			2723	2480
SMX/SML-2525H			2143	1900
SMX/SML-3119H	3220	3060	2723	2480
SMX/SML-3125H			2143	1900
SMX/SML-3619H	3800	3640	2723	2480
SMX/SML-3625H			2143	1900

組み立てにあたっての注意事項

●設置場所

1. 崖の縁や屋上など、安全が確認できない場所への設置は避けてください。
2. 非常時の避難通路となるような場所には設置しないでください。
3. 家からの雪が直接屋根に落ちてくる場所への設置は避けてください。
4. 家の屋根からまとまった雨水が直接屋根や壁に落ちないように配慮してください。

●組み立て

1. 転倒防止工事を必ずおこなってください。
2. 強風時などの天候の悪い日の組み立ては避けてください。
3. 30kg以上の梱包や部材の運搬・組立は、2人以上でおこなってください。
4. ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具や脚立等を使用し、安全確認の上作業してください。
5. 内壁を切断加工をする際には、必要に応じて防塵マスクや保護メガネ等を着用してください。
6. 滑りやすい履物を使用しないでください。
7. テクスネジで取り付ける際には、裏側に電気配線等の障害物がないことをご確認ください。
8. 作業中に出る切粉は、錆の原因となりますので必ず除去してください。
9. 作業場の整理整頓、作業相互の安全確認を十分におこなってください。
10. 組立中は部材の転倒防止のために、つかい棒やロープ等でしっかり固定してください。
11. 暗い場所や夜間の作業をおこなう場合は、安全のため必要十分な明るさを確保してください。
12. 組立途中で放置しないでください。
もし、作業を中断する場合は「16. 壁パネル・開口部・オプションの取付」の後にしてください。
13. 高トルクのインパクトドライバーをご使用の際は、ボルトの締めすぎにご注意ください。

組立順序のご説明

組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所またはネジ切り加工のない所はボルト締めのためにはありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなかったり穴が合わない場合がありますので、この場合はネジをゆるめ調整してください。

基礎施工

地ならし、地固めを十分にしておいてコンクリートブロックを基礎図に従い、水準器を使って水平に設置します。
 ※基礎が水平に置かれていない場合には、戸当たりが悪くなったり、雨もり等の原因になることがあります。
 ※強風地、軟弱な地盤、寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

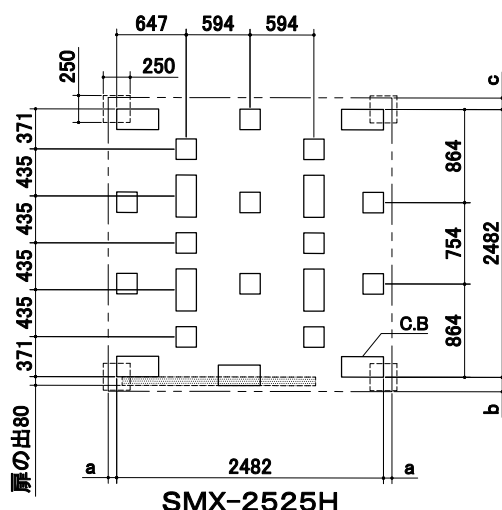
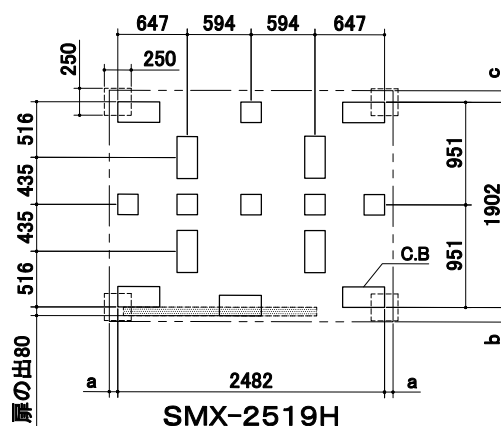
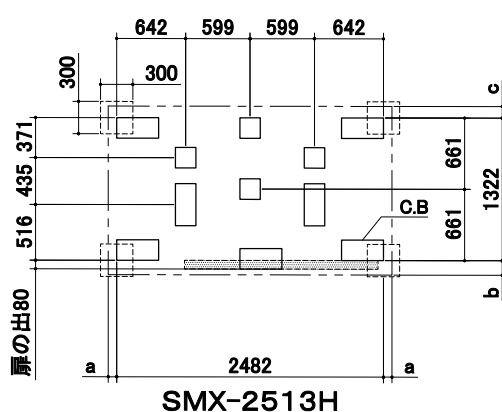
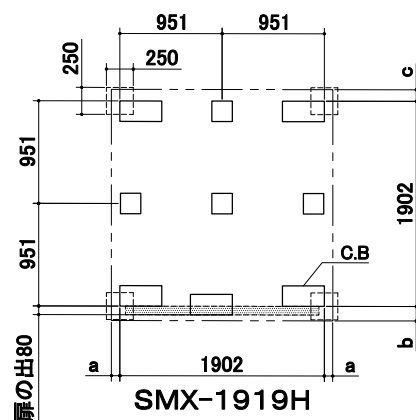
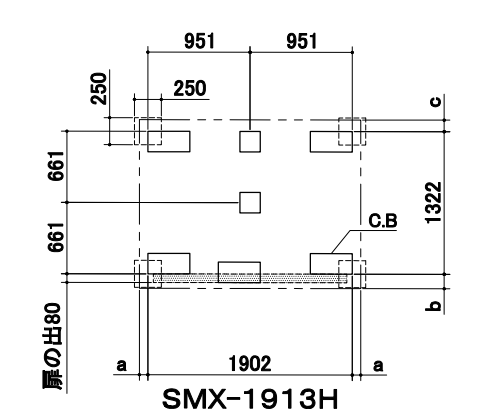
安全確保のため、転倒防止工事には十分注意してください。

＜置基礎図＞

[単位:mm]

□…組立後現場打コンクリートを示す - - - - - …屋根のラインを示す C.B…コンクリートブロック(100×190×190,100×190×390)
 a,b,c…屋根の出幅を示す(a=79,b=134,c=107)

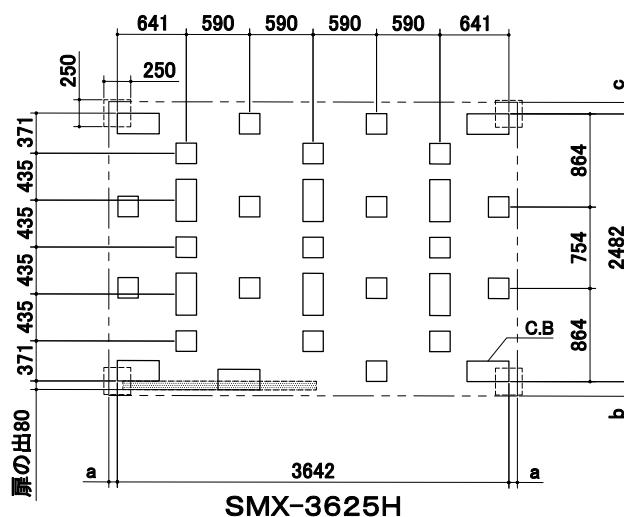
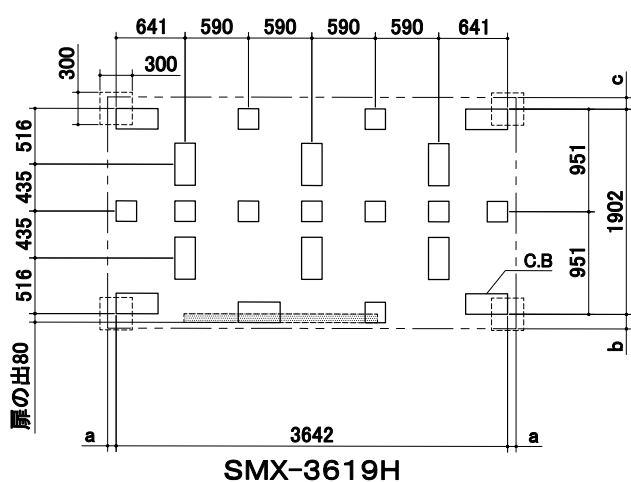
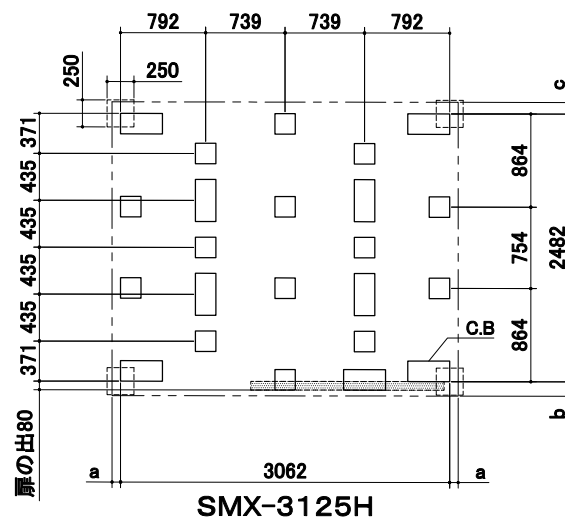
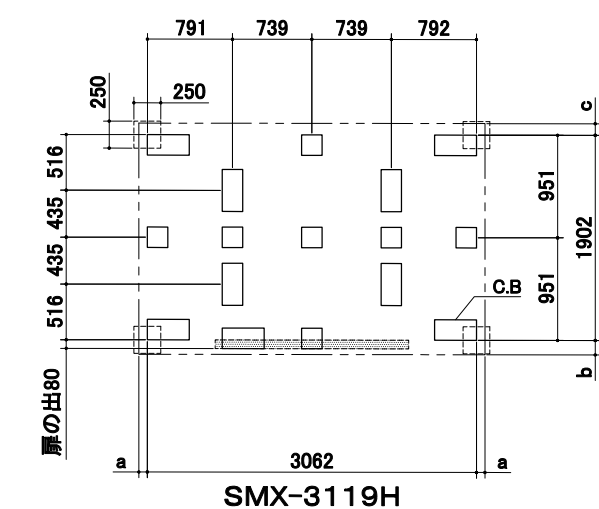
・扉の位置に合わせたブロック配置としてください。扉が付かない場合は、扉の出(80mm)は不要です。



[単位:mm]

□…組立後現場打コンクリートを示す - - - - …屋根のラインを示す C.B…コンクリートブロック(100×190×190,100×190×390)
a,b,c…屋根の出幅を示す(a=79,b=134,c=107)

・扉の位置に合わせたブロック配置としてください。扉が付かない場合は、扉の出(80mm)は不要です。



■基礎詳細図[単位:mm]

基礎詳細	アンカー部詳細	
	地盤が土の場合	地盤がコンクリートの場合 ※オールアンカー-M10(市販品)が4本必要になります。
	A寸法: 100~150mmに対応	B寸法: 100~120mmに対応
		C寸法: 135~175,190mmに対応

基礎施工

水盛り・遣り方にしたがって根伐・砂利等で地固めをし、下図のように基礎を作ります。

※この説明書における基礎は標準施工図面です。強風地、軟弱な地盤、寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

※基礎の水平がとれていない場合は、戸当たりが悪くなったり、雨もり等の原因になることがあります。

※床下換気口は適切に配置してください。

※地面からの湿気上昇を防ぐ為、防湿シートを敷き込んでください。

※布基礎内部のブロック配置は、必ず基礎業者でおこなってください。

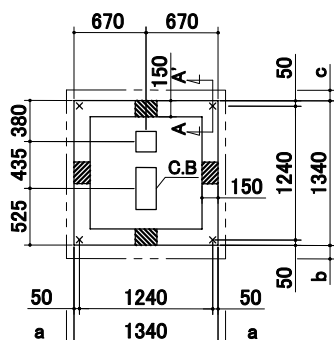
安全確保のため、転倒防止工事には十分注意してください。

注意
アンカーボルトは布基礎芯ではありません。

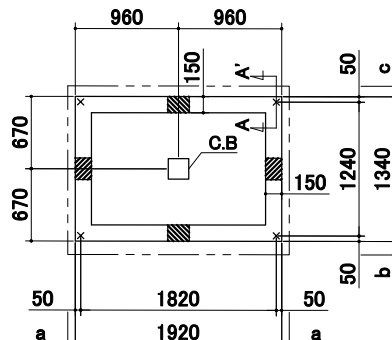
＜布基礎図＞

[単位:mm]

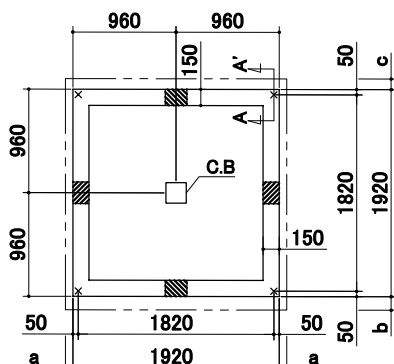
× …アンカーボルト位置を示す ▨ …床下換気口を示す - - - - - …屋根のラインを示す C.B…コンクリートブロック(100×190×190,100×190×390)
a,b,c…屋根の出幅を示す (a=70,b=125,c=98)



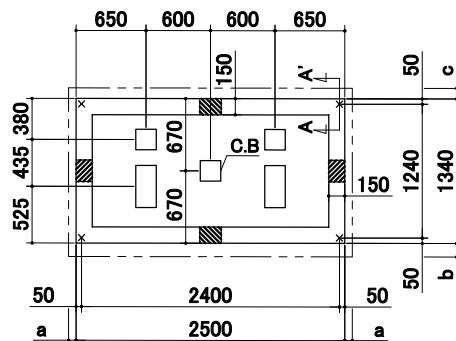
SML-1313H



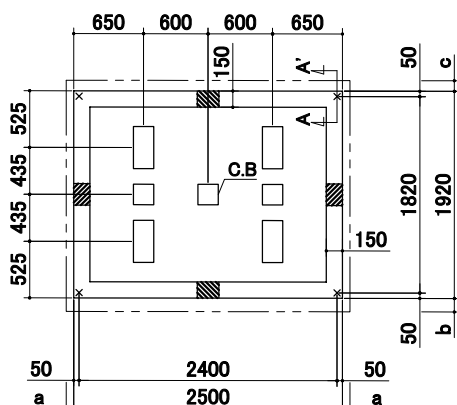
SMX-1913H
SML-1913H



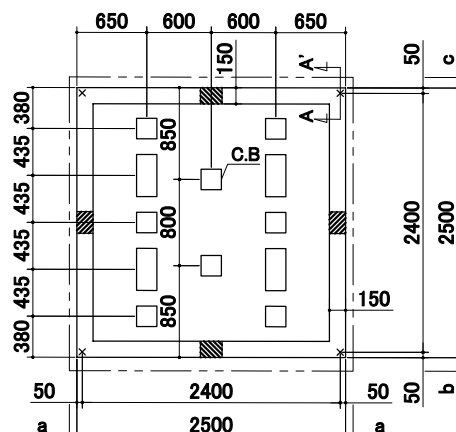
SMX-1919H
SML-1919H



SMX-2513H
SML-2513H



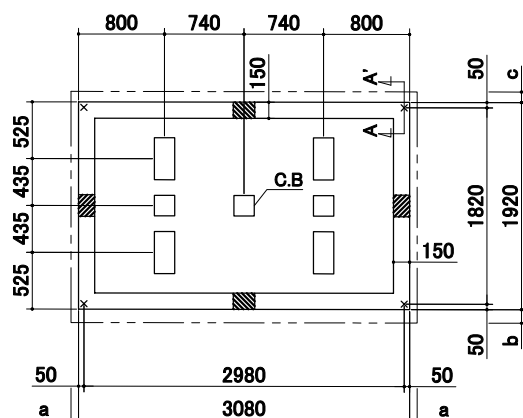
SMX-2519H
SML-2519H



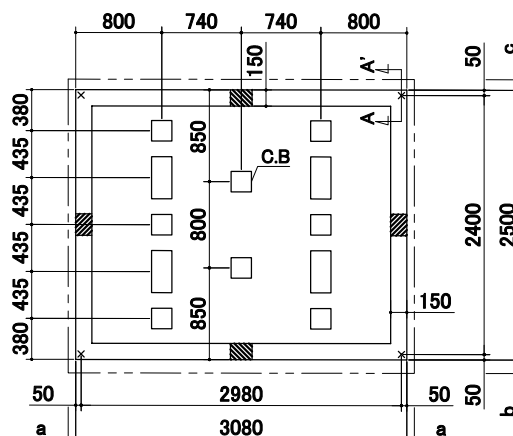
SMX-2525H
SML-2525H

[単位:mm]

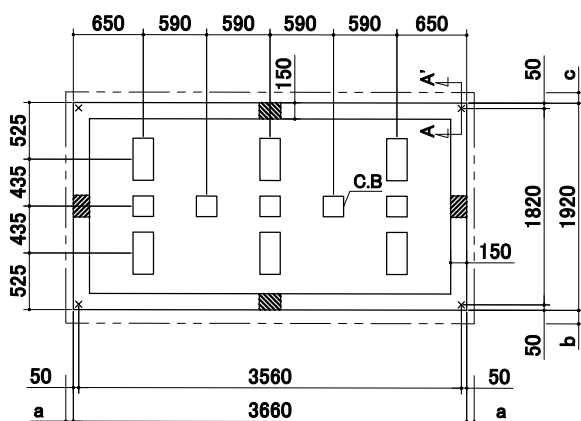
× …アンカーボルト位置を示す  …床下換気口を示す - - - - …屋根のラインを示す C.B…コンクリートブロック(100×190×190,100×190×390)
a,b,c…屋根の出幅を示す (a=70,b=125,c=98)



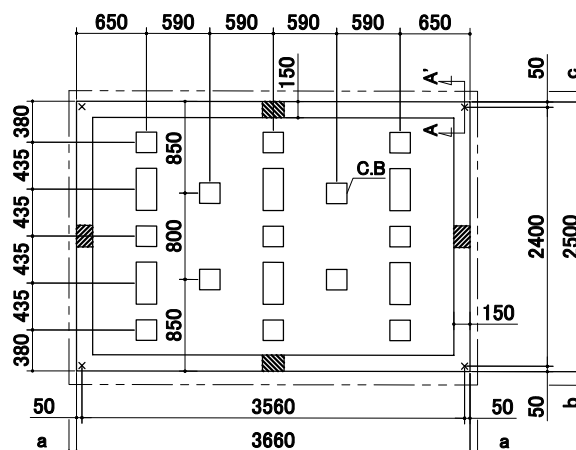
SMX-3119H
SML-3119H



SMX-3125H
SML-3125H



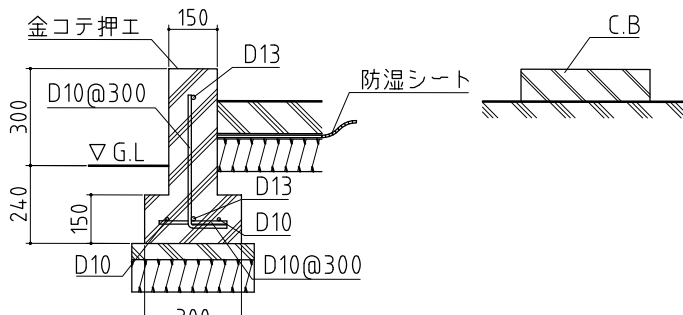
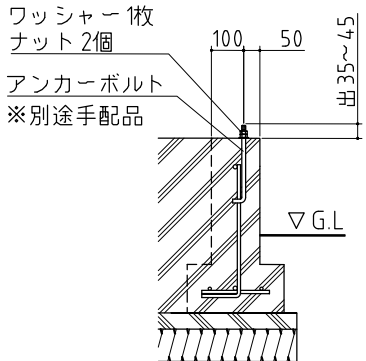
SMX-3619H
SML-3619H



SMX-3625H
SML-3625H

※アンカーボルトのサイズについて
・ M12× 240～300

■基礎詳細図[単位:mm]

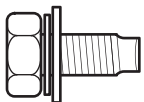
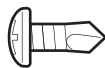
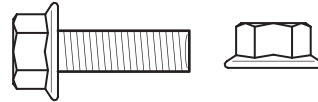
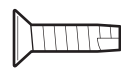
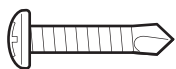
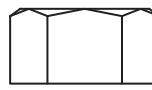
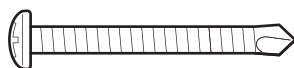
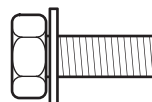
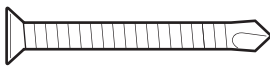
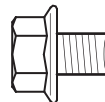
基礎詳細	
基礎断面	A-A'断面
基礎天は面取しないでください ※布基礎内部のブロック配置は必ず基礎業者でおこなってください 	 ワッシャー1枚 ナット2個 アンカーボルト ※別途手配品

ネジの種類に注意!

組み立てには、多種のネジを使用します。間違えて取り付ける事がないように、組み立ての際には指定されたネジの形状・大きさ・取付場所を一覧表で確認の上、作業してください。

※表中には、代表的なネジを載せてあります。下記以外のネジは、それぞれのオプションの組立説明書を参考に取付けてください。

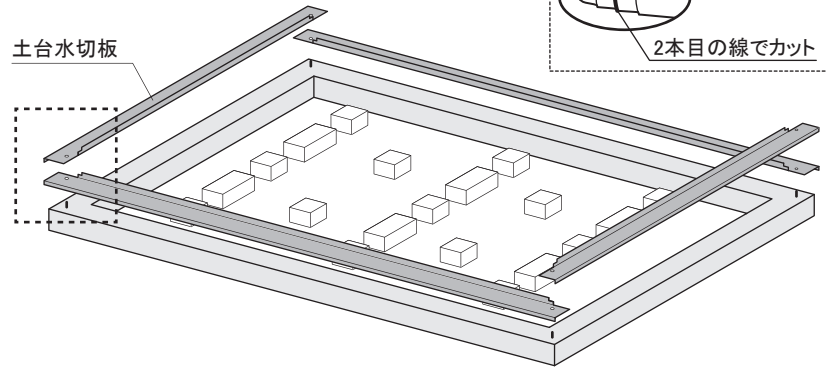
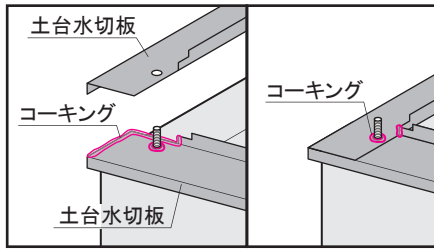
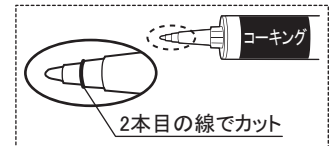
使用ネジ一覧表【ネジの図は、実物どおりの大きさと載せてあります。】

形状	取付場所	形状	取付場所
歯付M6ボルト (ZECコート) 	本体組立 (組立説明書内では 歯付M6ボルトは M6ボルトと表記 しています。)	テクスネジφ4×10 (ステンレス) 	扉入口枠上・左右 掃き出し窓入口枠上 掃き出し窓入口枠左右
M6×18ボルト(ZECコート) M6フランジナット(ZECコート) 	鼻隠し後	トラスタッピンネジM4×12 (ステンレス) 	ドア入口枠上 ドア入口枠左右
テクスネジφ4×13 (有色クロメート) 	床固定金具	皿タッピンネジφ4×14 (ステンレス) 	入隅 回り縁ガラリ
テクスネジφ4×19 (ステンレス) 	巾木 (ジョイントカバー部) ガラス窓の額縁 (下の中間部)	トラスタッピンネジM5×12 (有色クロメート) 	野縁
トラスタッピンネジφ4×20 (ステンレス) 	ガラス窓の額縁 (上:全部 下:両端のみ)	M12ナット (ZECコート) 	アンカー固定(布基礎)
テクスネジφ4×35 (ステンレス) 	巾木 (内壁のセンター部) 扉入口枠下	M6×14ボルト (ステンレス) 	軒とい・たてとい
皿テクスネジφ4×35 (ステンレス) 	ドア入口枠下 掃き出し窓入口枠下	M6×7ボルト(ZECコート) 	アンカープレート MNA・MNB

1. 土台水切板の取付（布基礎の場合のみ）

土台水切板を並べ、つなぎ目とアンカーボルト用の穴を下图のようにコーキングします。

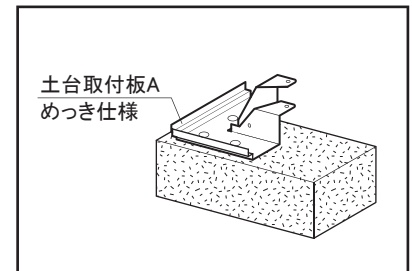
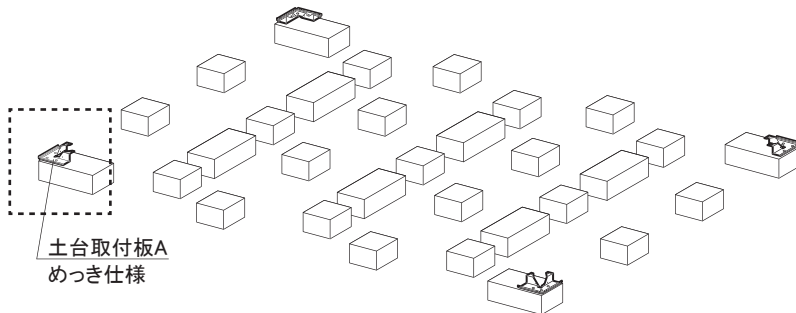
※内部に雨水が浸入することがありますので必ずコーキングをしてください。



2. 土台取付板の取付

●置基礎の場合

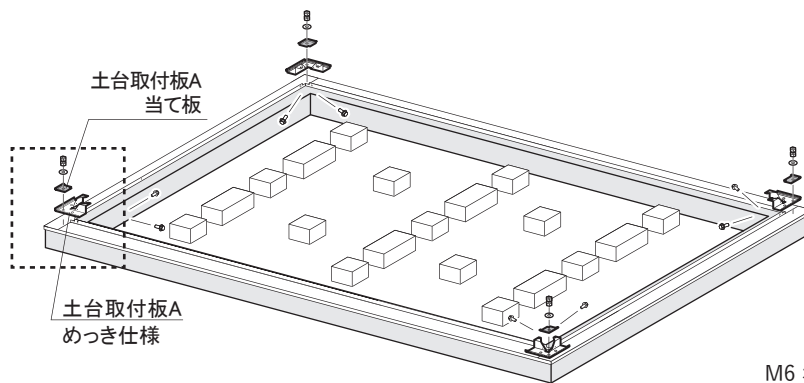
土台取付板Aをブロックの上に置きます。



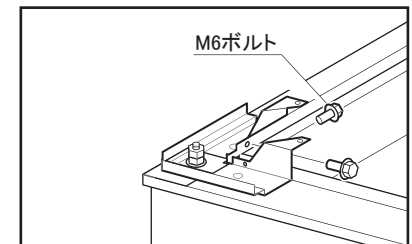
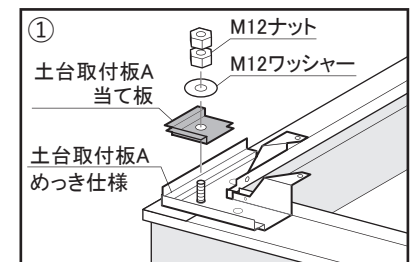
●布基礎の場合

①布基礎から出ているアンカーボルトに合わせ土台取付板Aを設置し、土台取付板A当て板、ワッシャー、ダブルナットで仮締めします。

②土台取付板Aと土台水切板をM6ボルトで取り付けます。



M6 ボルト：8 本

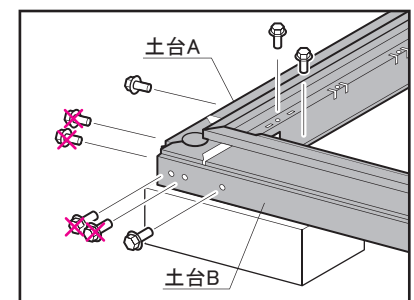
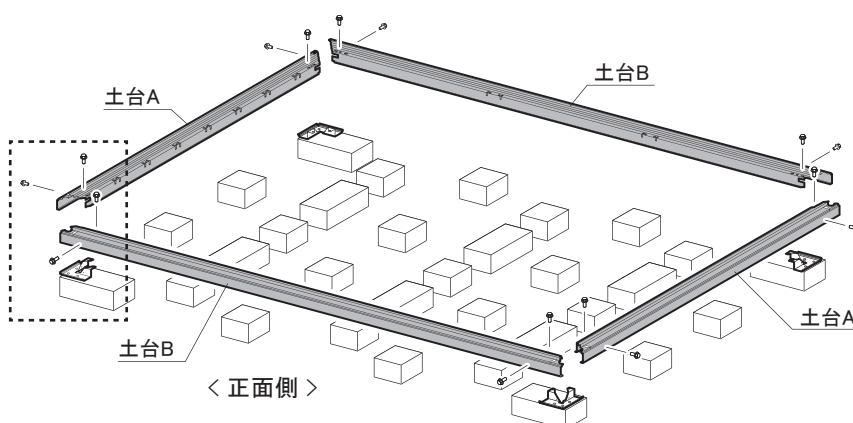


3. 土台の取付

土台を土台取付板Aにかぶせ、M6ボルトで仮締めします。土台の直角と対角を出してから本締めしてください。

※土台Aと土台Bは断面形状が同じです。部材シールで部材名を確認して取り付けてください。

※詳細図の✕印の位置にはボルトをとめないでください。（柱の取り付けができなくなります。）

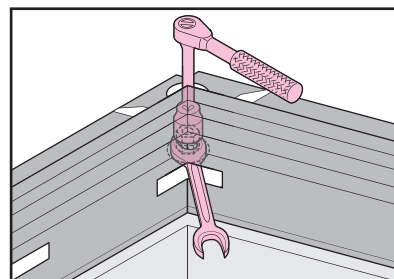
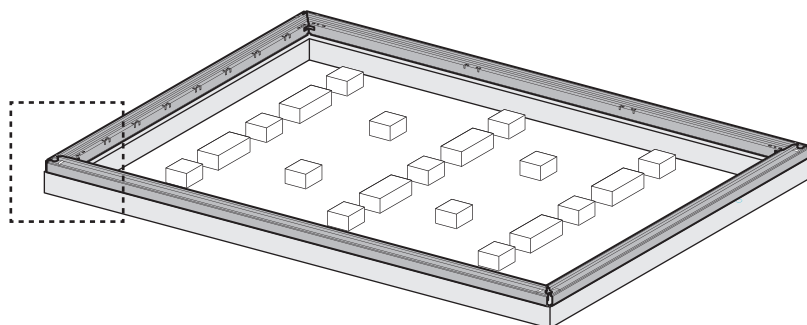


M6 ボルト：16 本

4. アンカーボルトの本締め（布基礎の場合のみ）

仮締めしてあったアンカーボルトを本締めします。

※アンカーボルトはダブルナット(ナット2つ)によるゆるみ止めを確実にこなってください。



ダブルナット締め付け例

ナット2つを締め付けた後、必ず上側のナットを押えながら下側のナットを左回りに締め付けてください。

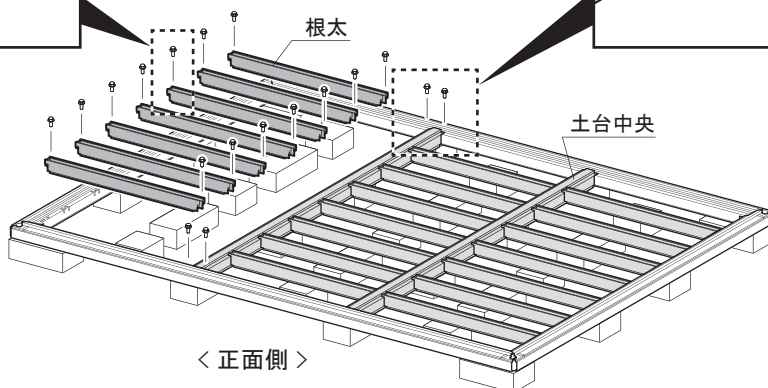
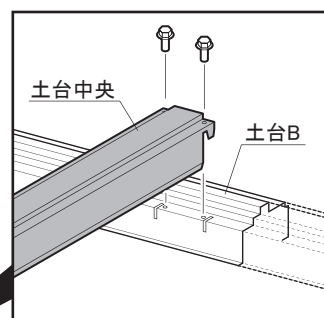
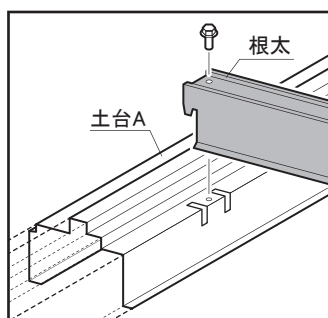
5. 土台中央・根太の取付

①土台中央を土台Bに渡し、M6ボルトで取り付けます。

②根太を土台Aと土台中央の角穴に入れ、M6ボルトで取り付けます。

※基礎部と土台、根太とブロックの間に隙間がないことを確認してください。隙間がある場合はスペーサーやゴムシート等で調整してください。(床鳴りの原因となります。)

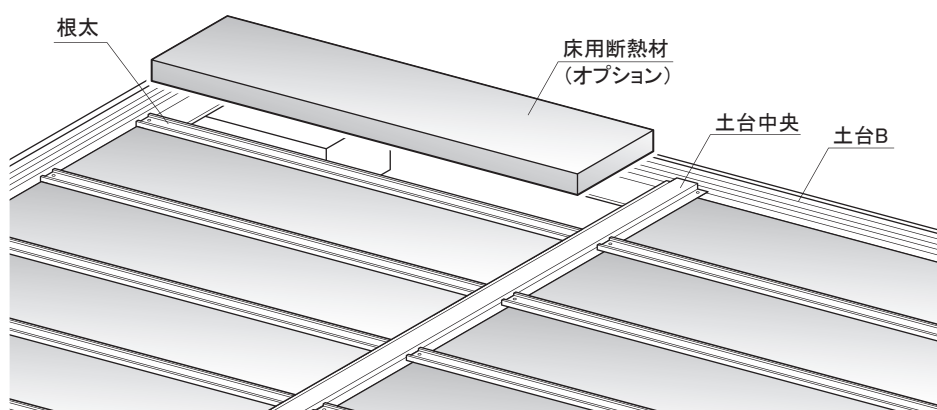
※1313H型には、土台中央はありません。



機 種	根太	土台中央	M6ボルト
1313H	3本	—	6本
1913H	6本	1本	16本
1919H	10本		24本
2513H	6本		16本
2519H	10本		24本
2525H	14本		32本
3119H	10本	2本	24本
3125H	14本		32本
3619H	15本		38本
3625H	21本		50本

6. 床用断熱材（オプション）の取付

床用断熱材を、土台Bから片追いで敷き詰めてください。



機 種	床用断熱材
1313H	4枚
1913H	8枚
1919H	12枚
2513H	8枚
2519H	12枚
2525H	16枚
3119H	12枚
3125H	16枚
3619H	18枚
3625H	24枚

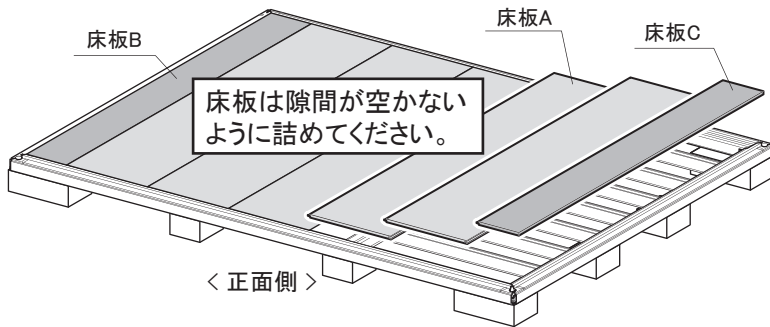
7. 床板の取付

①土台Aにボンドを塗り、床板Bを床固定金具とテクスネジ $\phi 4 \times 13$ で土台B・根太に固定します。

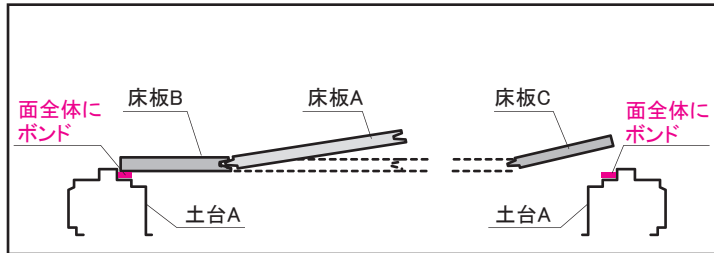
床固定金具は土台Bから根太1本おきに使用してください。

②床板A、床板Cの順に同じ要領で敷き込みます。

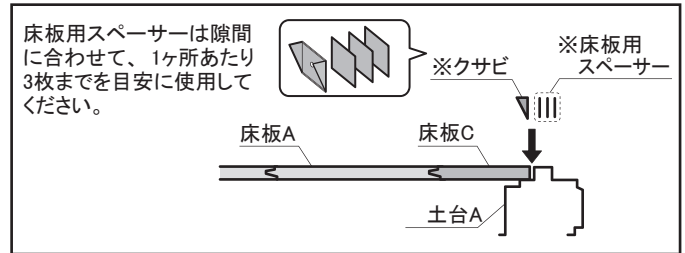
※床板を敷き込んで隙間が空く場合は、クサビ(3枚)を打ち込んでください。それでも隙間が空く場合は床板用スペーサーを追加してください。



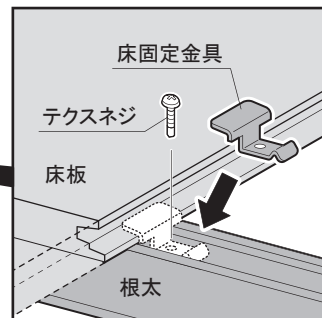
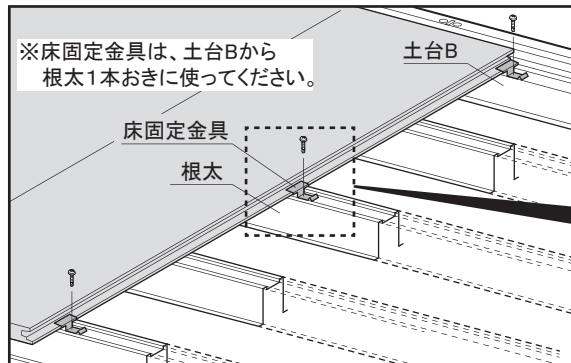
＜ボンドの塗布位置＞



＜クサビについて＞



＜床固定金具の取付方法＞

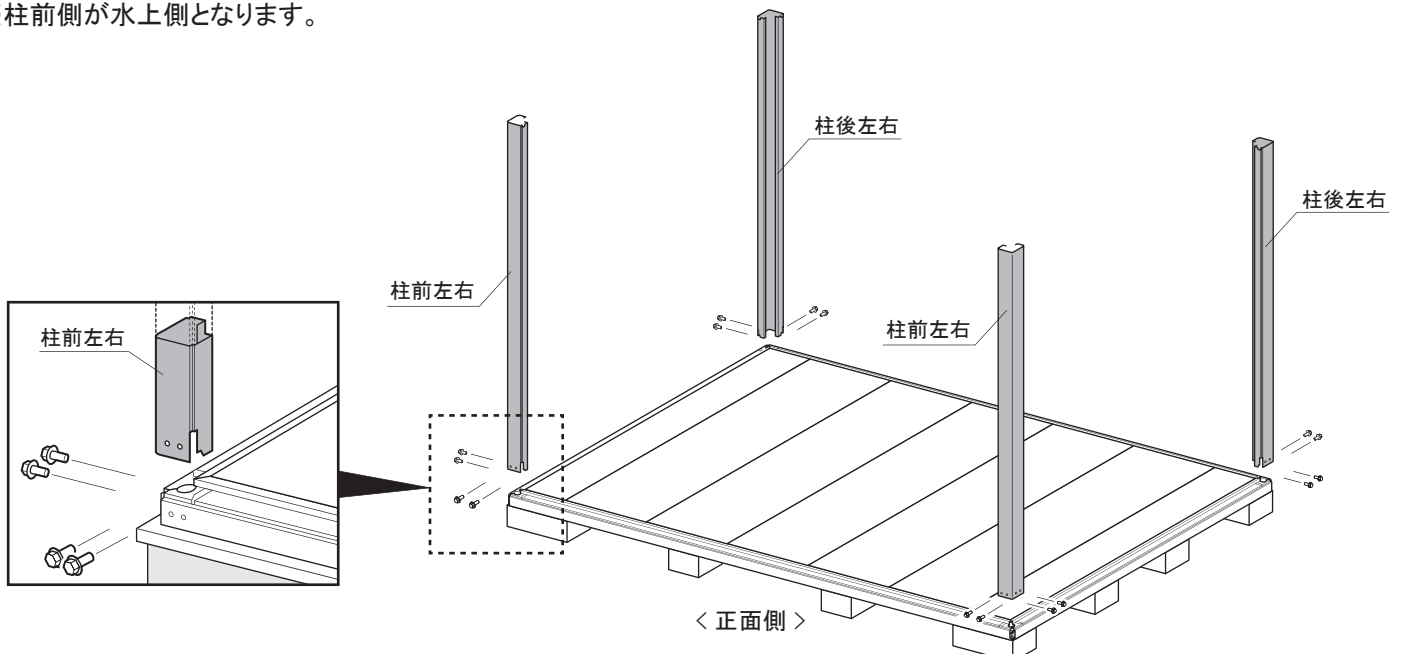


機種	床固定金具	テクスネジ $\phi 4 \times 13$
1313H	3個	3本
1913H	6個	6本
1919H	8個	8本
2513H	12個	12本
2519H	16個	16本
2525H	20個	20本
3119H	16個	16本
3125H	20個	20本
3619H	24個	24本
3625H	30個	30本

8. 柱の取付

柱前左右、柱後左右を土台にM6ボルトで取り付けます。

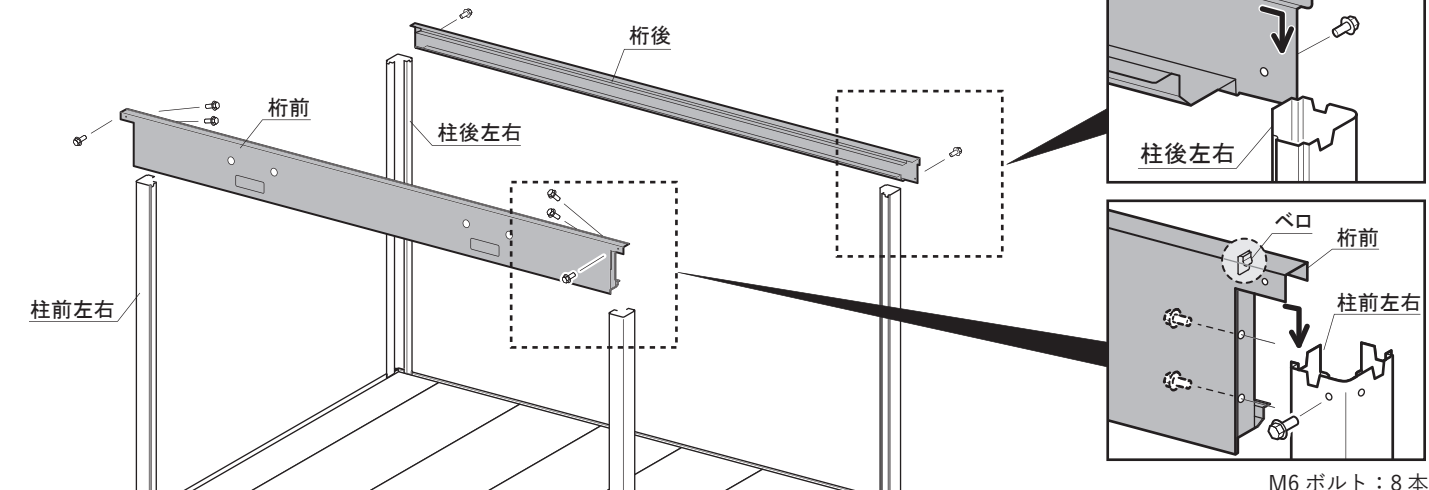
※柱前側が水上側となります。



M6 ボルト：16 本

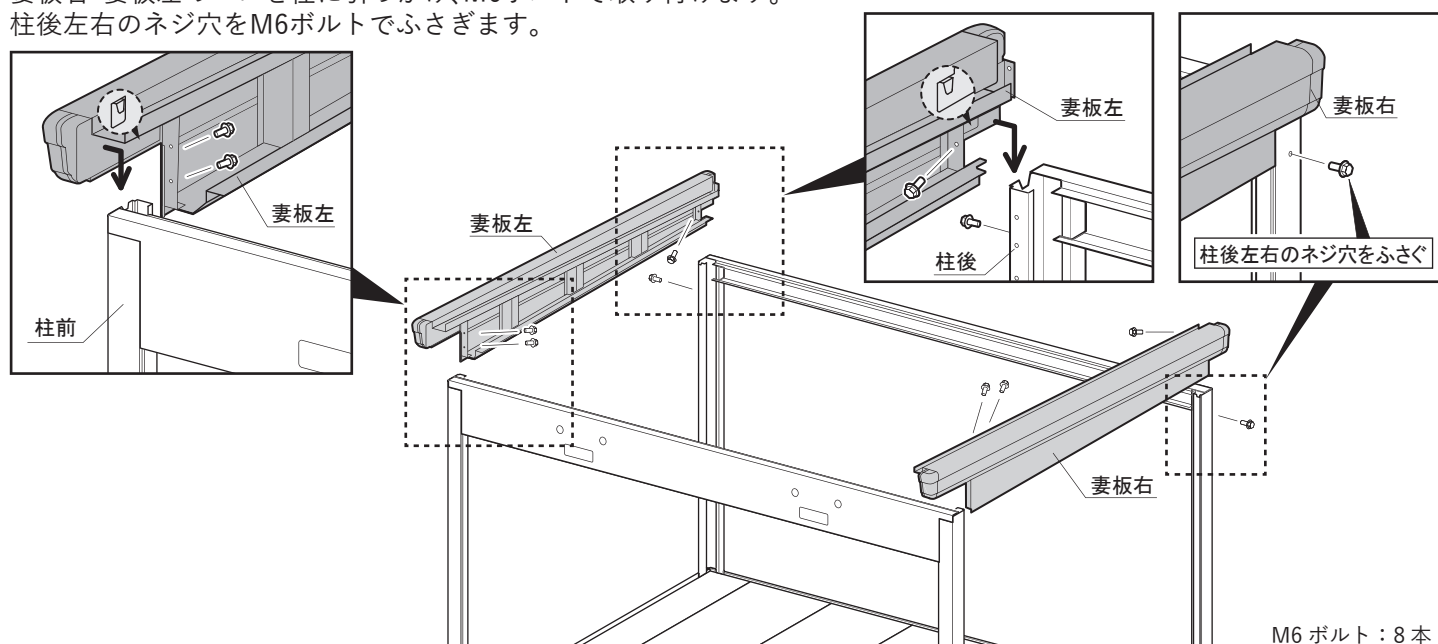
9. 桁前後の取付

桁前・桁後のペロを柱に引っ掛け、M6ボルトで取り付けます。



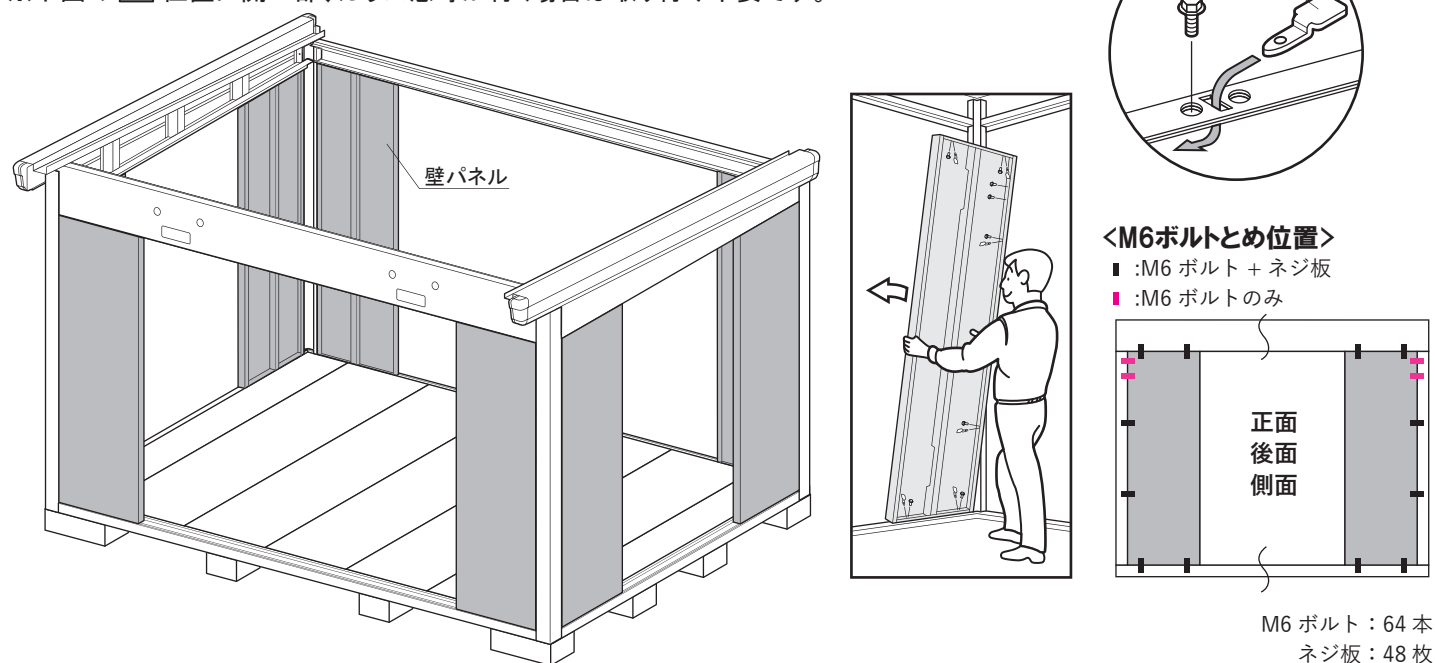
10. 妻板左右の取付

妻板右・妻板左のペロを柱に引っ掛け、M6ボルトで取り付けます。
柱後左右のネジ穴をM6ボルトでふさぎます。



11. 壁パネルの取付

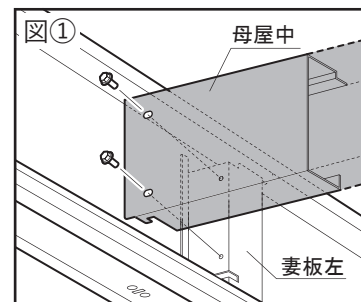
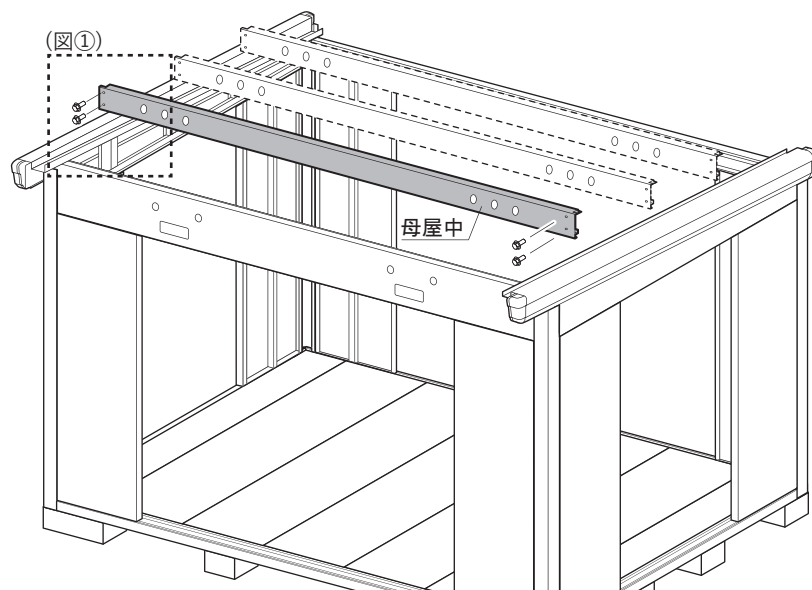
4隅に壁パネルを取り付けます。
※M6ボルトのみで取り付ける部分があります。
※下図の ■ 位置に開口部、ガラス窓等が付く場合は取り付け不要です。



12. 母屋中の取付

母屋中を妻板左右の母屋受けにはめ込み、M6ボルトで取り付けます。

※母屋中が2本以上ある場合は一番前側の1本だけ取り付け、残りは「14. 屋根パネルの取付」の後にセットすると安全に組み立てができます。



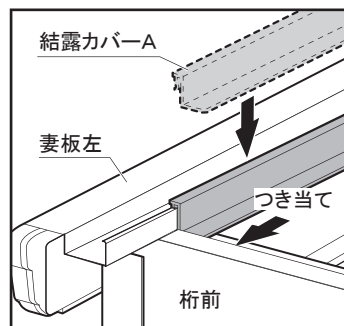
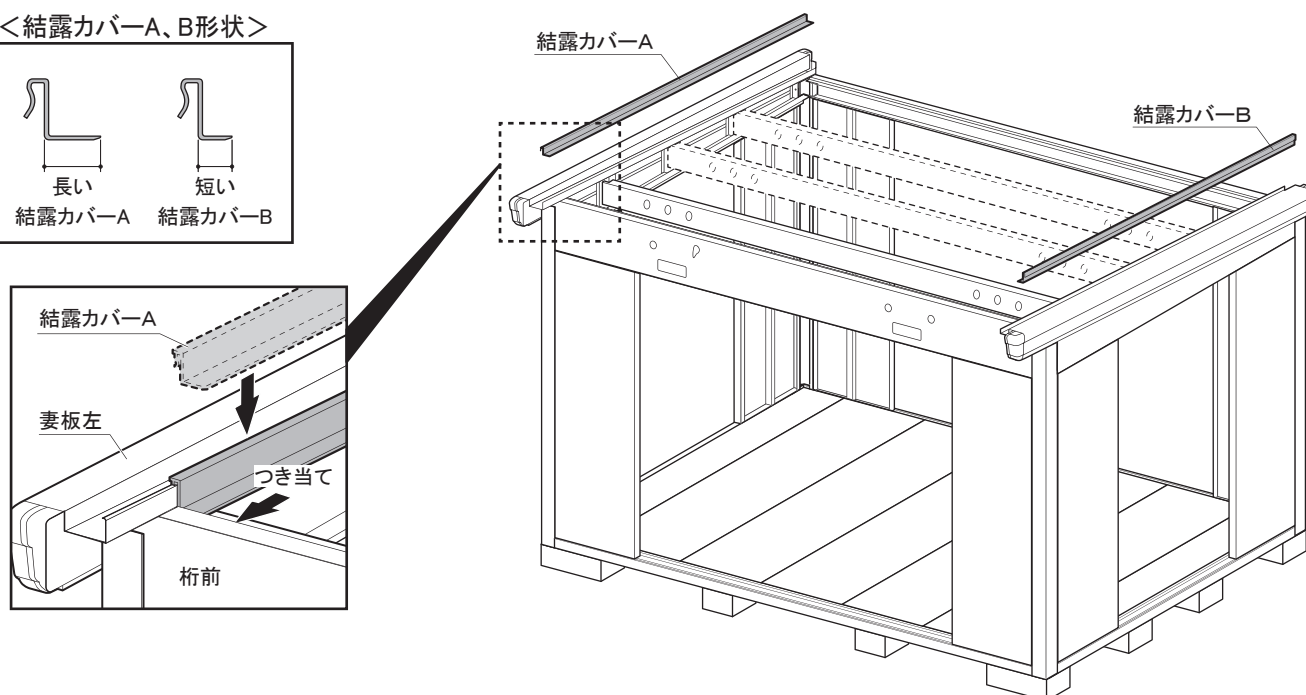
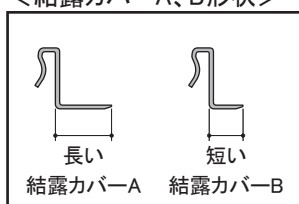
M6 ボルト：母屋中の本数 × 4 本

13. 結露カバーの取付（結露軽減材付き屋根の場合のみ）

①結露カバーAと結露カバーBを妻板にはめ込みます。

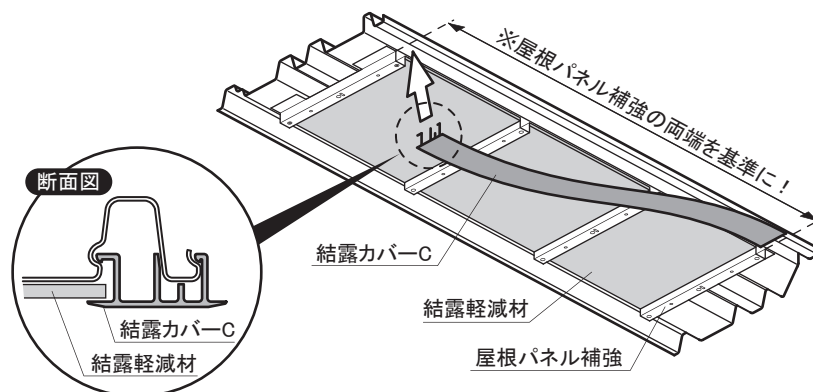
※結露カバーAとBは形状が似ています。形状を確認して取り付けてください。

<結露カバーA、B形状>



②結露カバーCを屋根パネルの山の小さい方にはめ込みます。

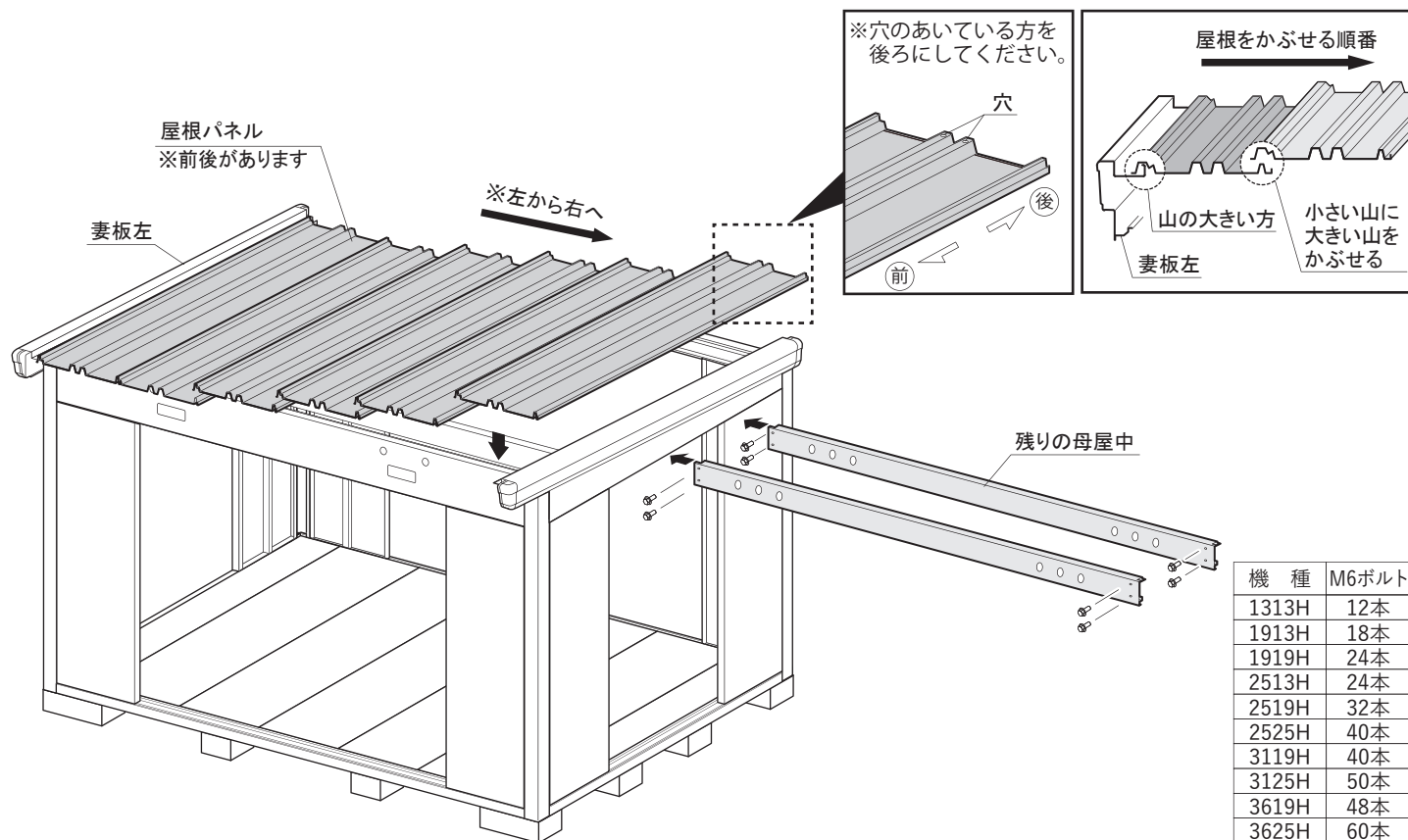
<結露カバーC形状>



注意 結露軽減材は傷や汚れがつきやすい素材です。指等で強く押さえないよう扱いには十分ご注意ください。

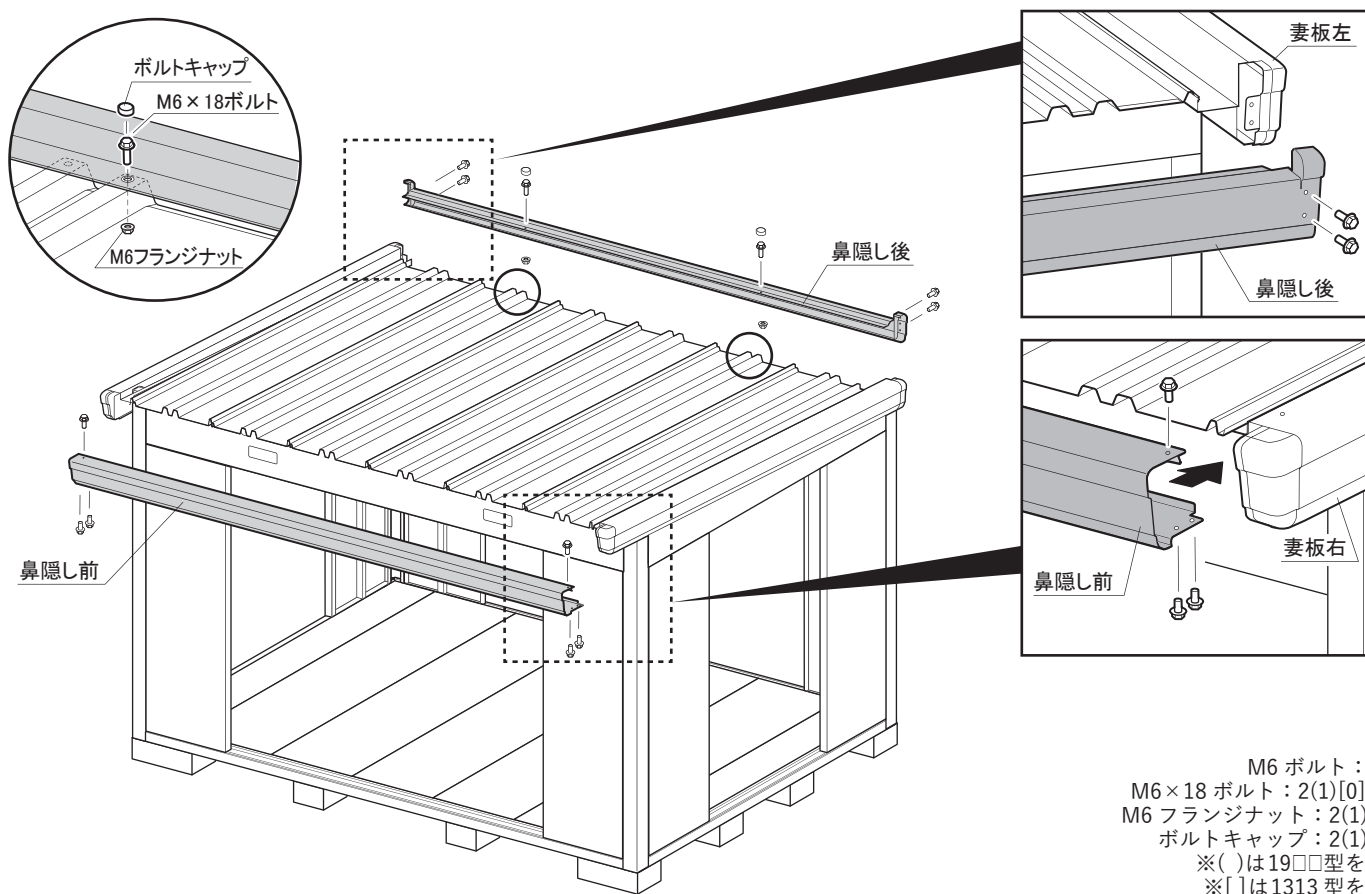
14. 屋根パネルの取付

- ①屋根パネルを妻板左からつなぎ目をかみ合わせてのせます。
- ②残りの母屋中を取り付け、屋根パネルを桁前後と母屋中にM6ボルトで取り付けます。



15. 鼻隠し前後の取付

- ①鼻隠し前をM6ボルトで取り付けます。
 - ②鼻隠し後をM6ボルトで取り付けます。
- 部は屋根後部と鼻隠し後をM6×18ボルト・M6フランジナットで固定し、ボルトキャップを取り付けます。
 ※○部は、1313型はなし、19□□型は1ヶ所、その他は2ヶ所です。



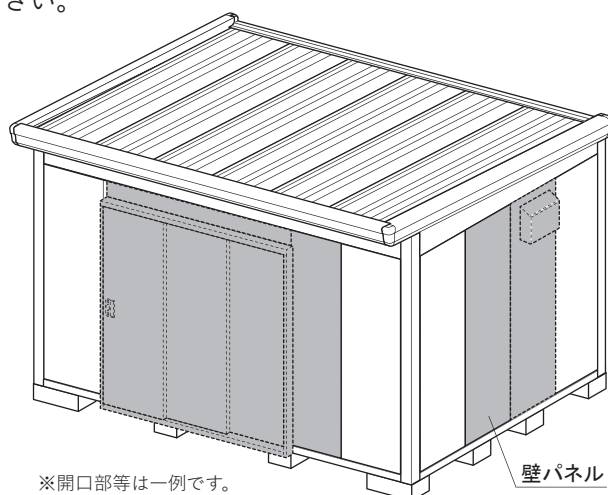
16. 壁パネル・開口部・オプションの取付

残りの壁パネルと開口部、パイプファン(換気扇)パネル、給気パネル、ガラス窓、オプション等を取り付けます。
開口部やオプション等は各組立説明書を参照して組み立ててください。

※壁パネル・オプション取付後に配線を通すことをお勧めします。

別途配線参考図を参照してください。

※オプションの制振テープは必ずこの時点(天井取付の前)で貼り付けてください。

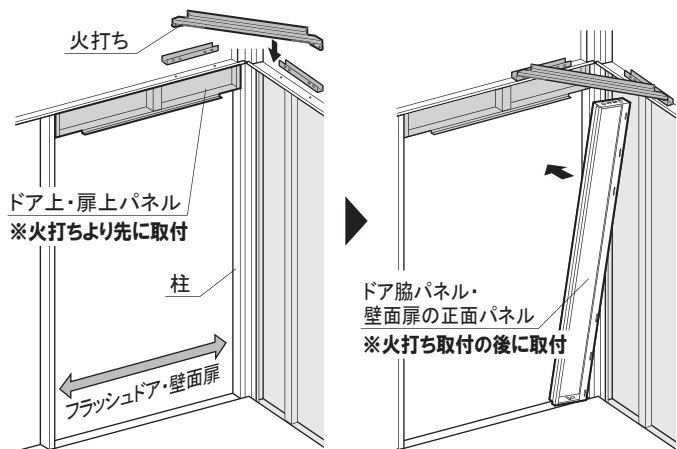


＜フラッシュドア・壁面扉の正面パネルが柱の隣に付く場合＞ (火打ちを取り付ける場合のみ)

柱の隣に付くフラッシュドア・壁面扉の部材と火打ちは、下記の順序で組み立ててください。

※順序を誤ると、火打ち取付板が取り付けづらくなります。

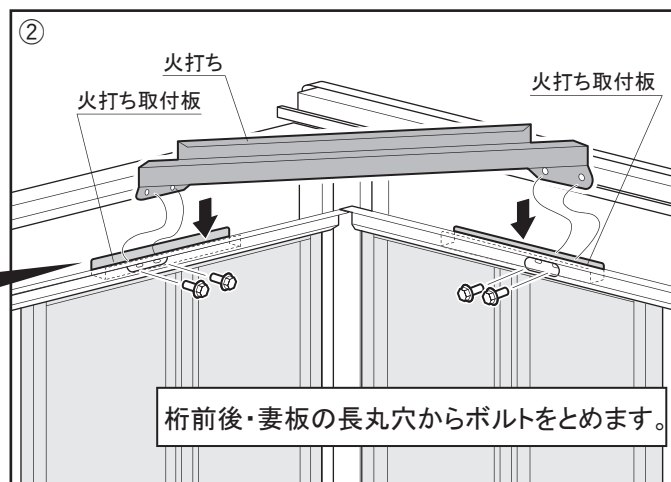
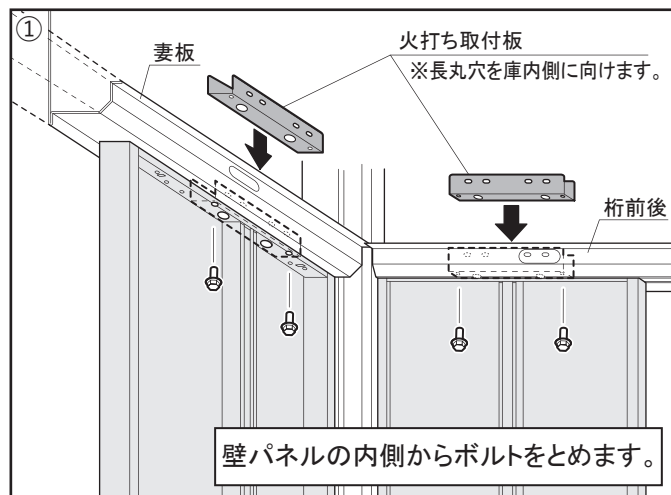
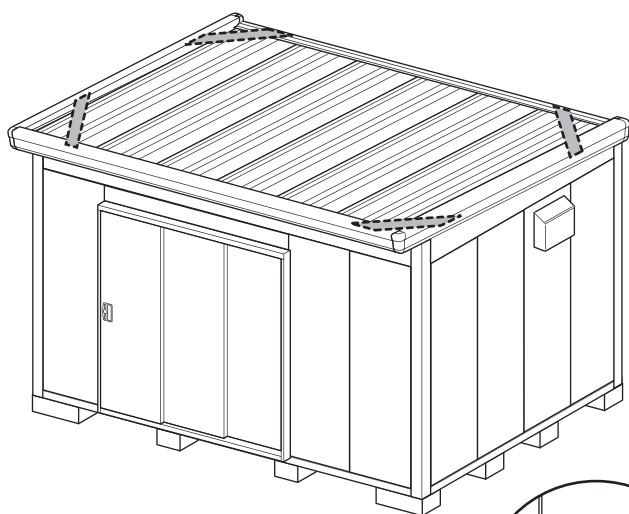
各オプション組立説明書を参照してドア上パネル・扉上パネルを取り付けた後、本体の「17. 火打ちの取付」を参照して火打ちを取り付けます。
その後、ドア脇パネル・正面パネル以降の組み立てを進めます。



17. 火打ちの取付 (火打ちを取り付ける場合のみ)

火打ちは下記の手順で庫内4隅に取り付けます。

- ①火打ち取付板を桁前後・妻板の中に入れ、M6ボルトで取り付けます。
- ②火打ちを火打ち取付板にかぶせ、M6ボルトで取り付けます。

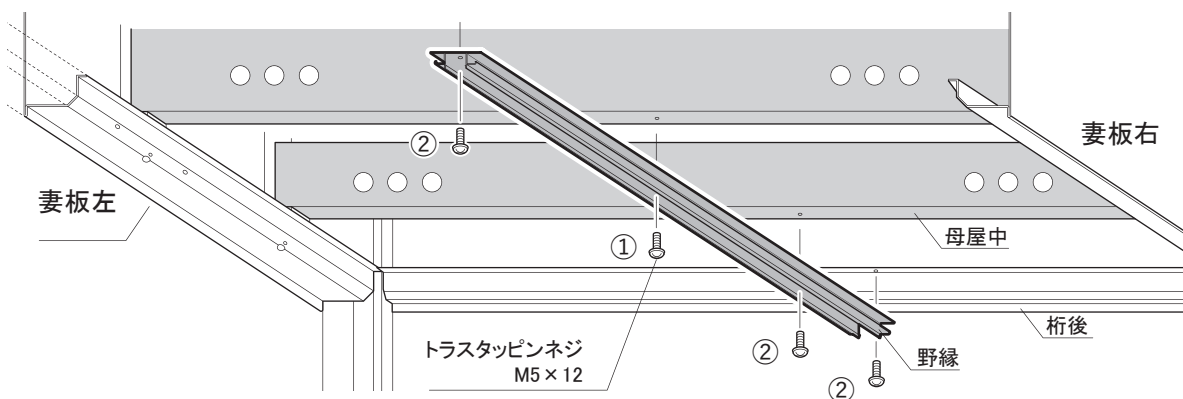


M6 ボルト : 32 本

18. 天井の取付

18-1

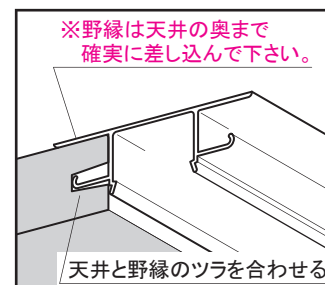
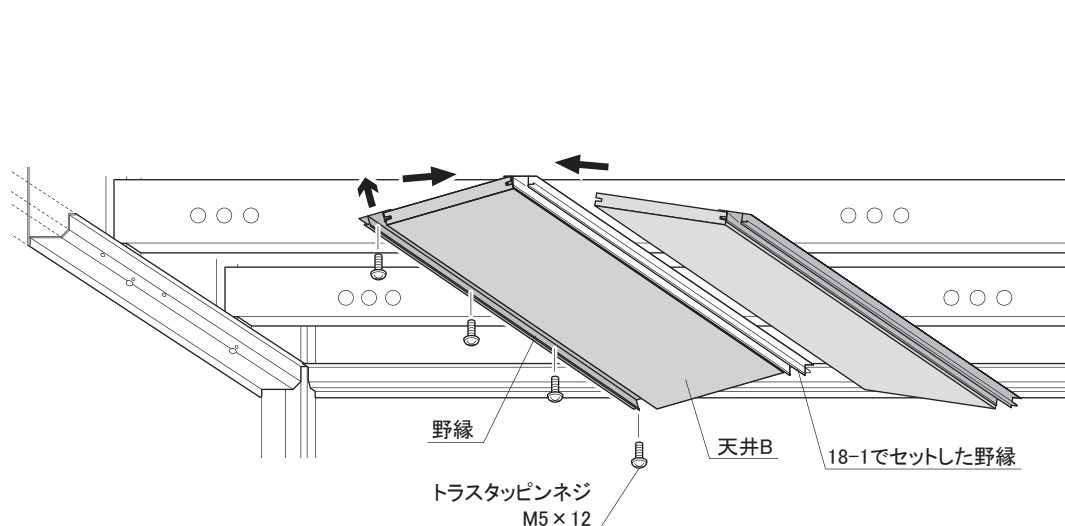
- ①野縁の中央付近の穴を使って、母屋中へタッピンネジM5×12で取り付けます。
- ②野縁の残りの穴を、母屋中と桁前後にタッピンネジM5×12で固定します。



機種	トラスタッピン ネジM5×12
1313H	3本
1913H	3本
1919H	4本
2513H	3本
2519H	4本
2525H	5本
3119H	4本
3125H	5本
3619H	4本
3625H	5本

18-2 (※1313H型の場合は18-3へ進んでください。)

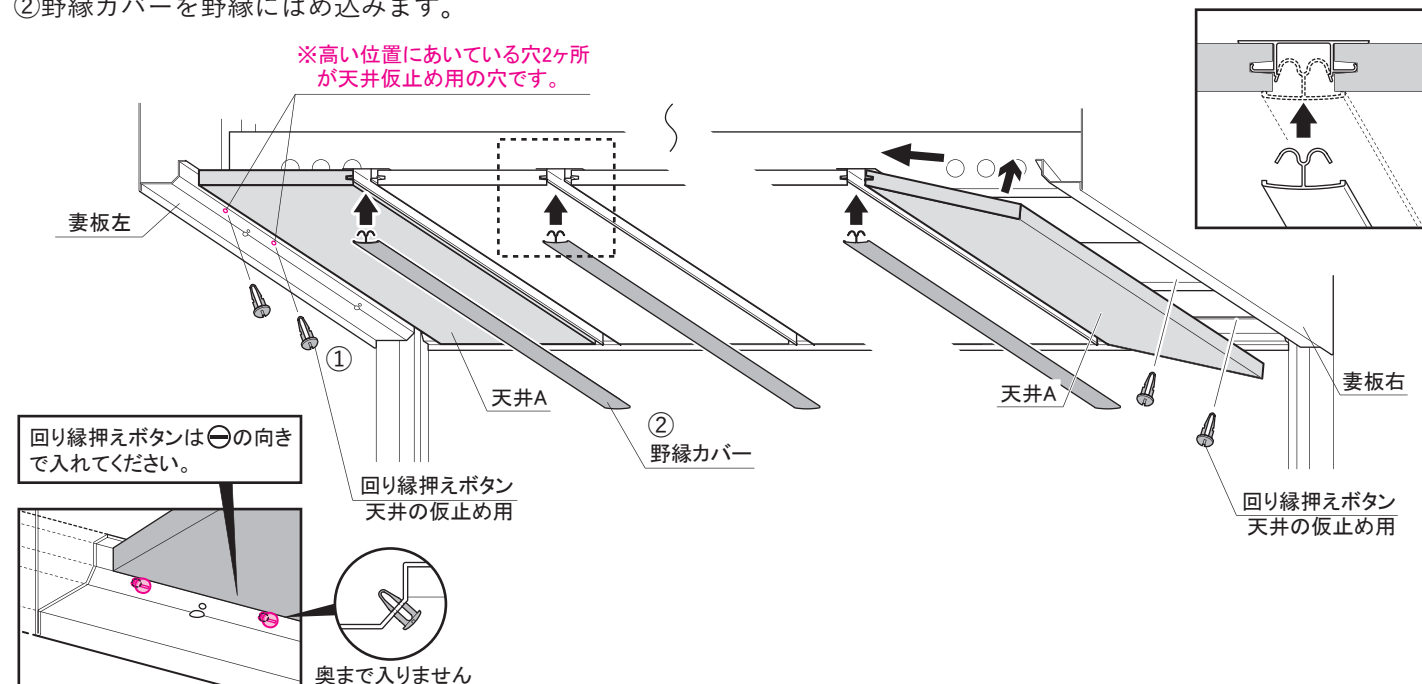
天井Bに野縁を完全に差し込んでから、18-1でセットした野縁にはめ、18-1と同じ要領で野縁を固定します。



機種	トラスタッピン ネジM5×12
1313H	—
1913H	3本
1919H	4本
2513H	6本
2519H	8本
2525H	10本
3119H	12本
3125H	15本
3619H	16本
3625H	20本

18-3

- ①天井Aをはめ込み、妻板左・妻板右の中央部2ヶ所に回り縁押えボタンを取り付けます。(天井の仮止め)
- ②野縁カバーを野縁にはめ込みます。

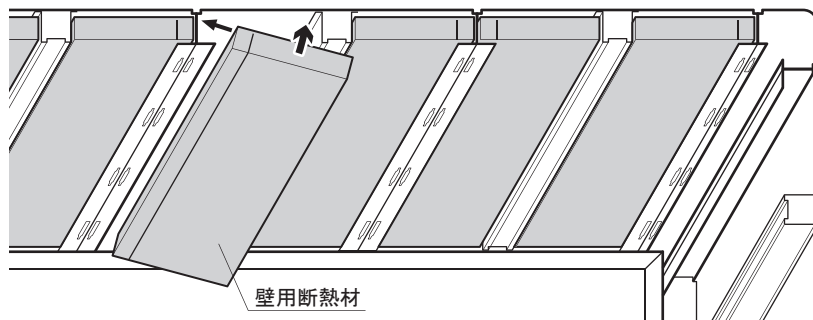


19. 内壁・壁用断熱材（オプション）の取付

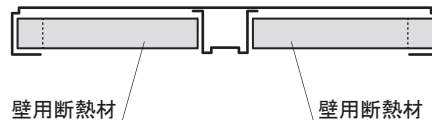
19-1

壁用断熱材(オプション)を壁パネルにはめ込みます。

※電気配線がある場合や、縦補強・ガラス窓等のオプション取付部分は、壁用断熱材をカットしてください。

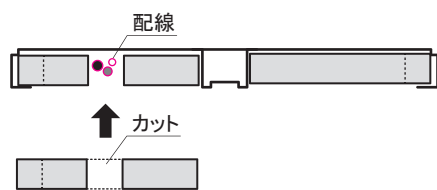


※壁用断熱材は、壁パネル1枚に2枚はめ込みます。



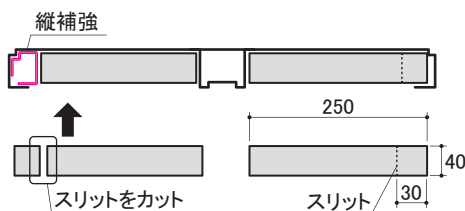
＜電気配線と重なる場合＞

電気配線を避けるようにカットします。



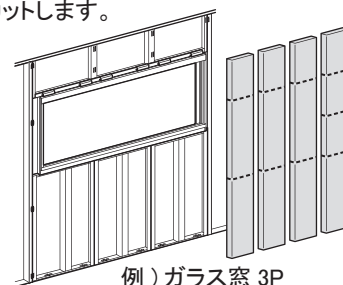
＜縦補強が取り付け壁パネル＞

縦補強が取り付け部分のスリットをカットします。



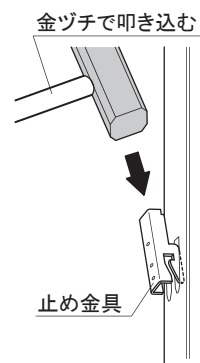
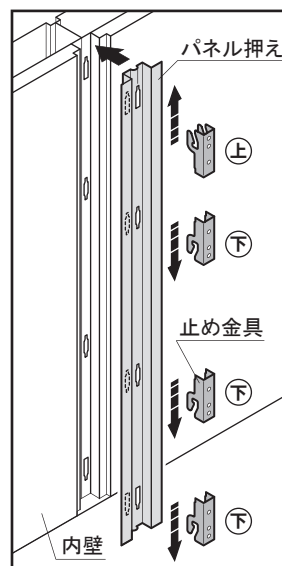
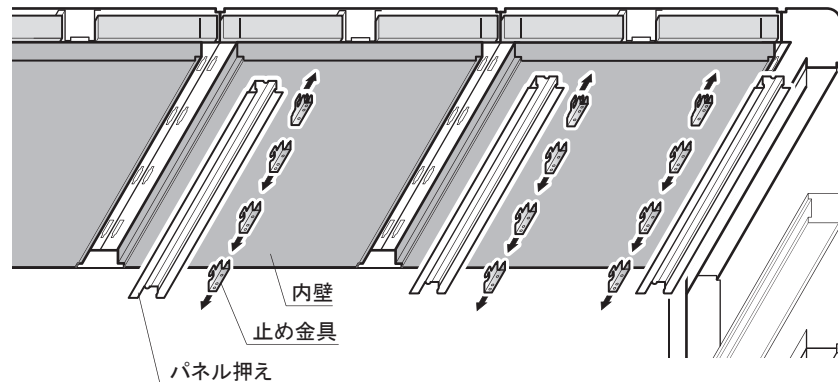
＜オプション取付部分＞

各オプションの組立説明書を参照してカットします。



19-2

内壁をパネル押さえと止め金具で壁パネルにセットし、全面に取り付けてから止め金具を打ち込みます。



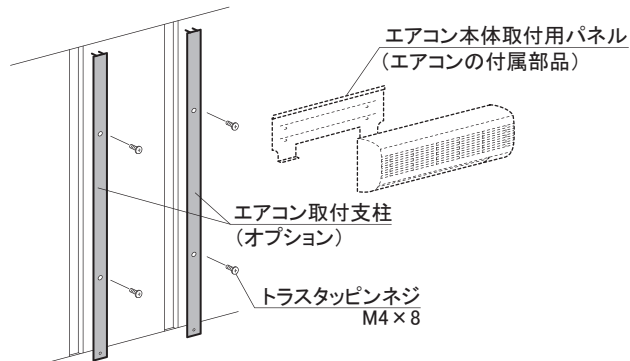
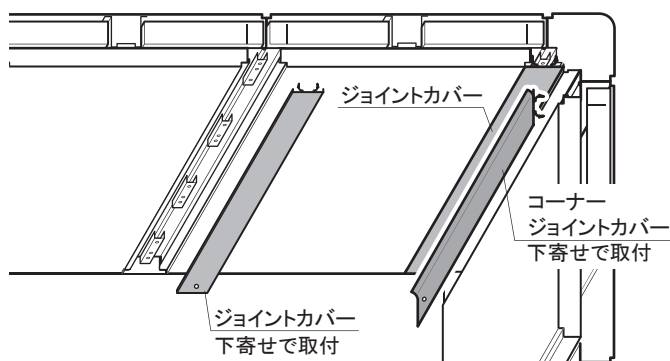
20. ジョイントカバーの取付

①ジョイントカバーをパネル押えにはめ込みます。コーナー部はジョイントカバー、コーナージョイントカバーの順に取り付けます。

②エアコン等を取り付ける位置にはエアコン取付支柱(オプション)をタッピンネジM4×8で取り付けます。

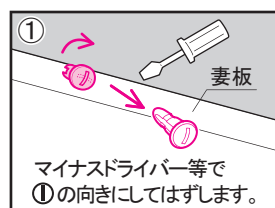
※端に穴が開いているほうを下にしてください。

※コーナー部に掃き出し窓が付く場合は、コーナージョイントカバーのカットが必要です。(掃き出し窓組立説明書参照)

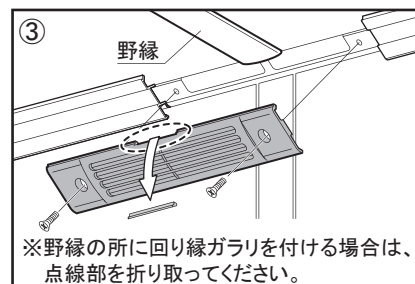
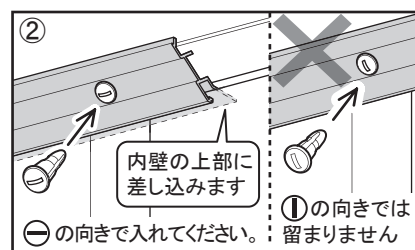
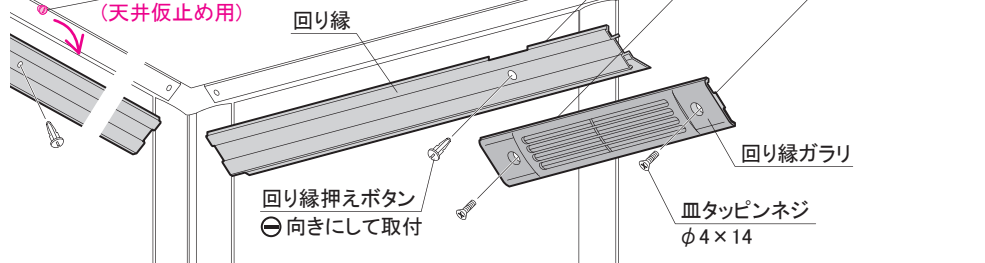


21. 回り縁・回り縁ガラリ・入隅の取付

- ①天井を仮止めしている回り縁押えボタンをマイナスドライバー等で回転させ、はずします。
- ②＜回り縁取付関係図＞を参考に回り縁を内壁の上部に差し込み、回り縁押えボタンで取り付けます。
- ③桁前側は、回り縁ガラリを皿タッピンネジφ4×14で固定します。

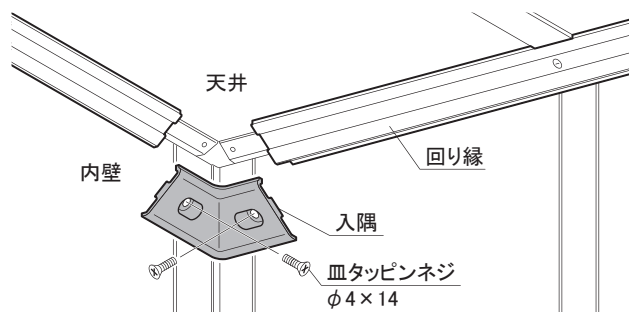


回り縁押えボタン
(天井仮止め用)



※野縁の所に回り縁ガラリを付ける場合は、点線部を折り取ってください。

- ④入隅を天井面の四隅に皿タッピンネジφ4×14で取り付けます。

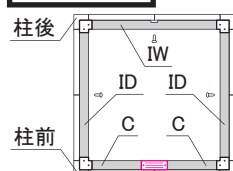


機種	回り縁押えボタン	皿タッピンネジφ4×14
1313H	3個	10本
1913H	6個	
1919H	8個	
2513H	6個	
2519H	8個	12本
2525H	10個	
3119H	11個	
3125H	13個	
3619H	13個	
3625H	15個	

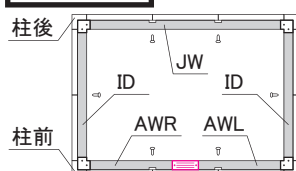
＜ 回り縁取付関係図 ＞

□.....入隅 ■.....回り縁ガラリ

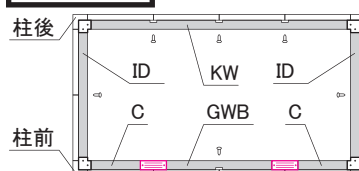
1313H



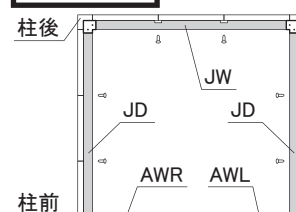
1913H



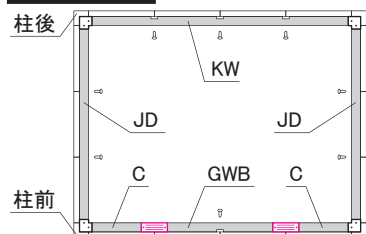
2513H



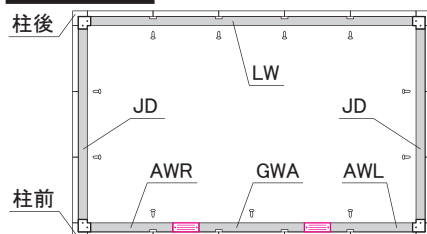
1919H



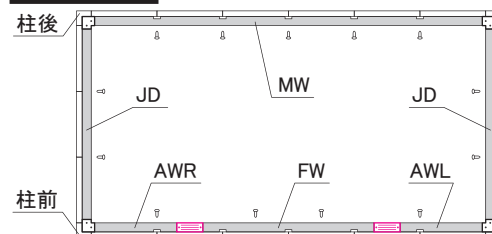
2519H



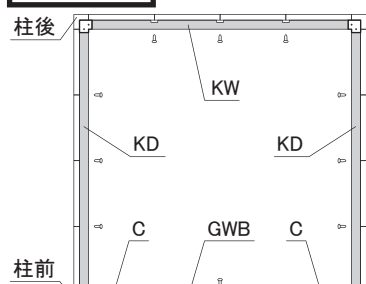
3119H



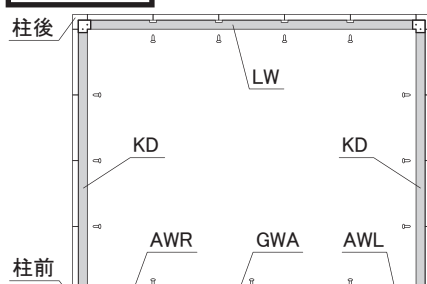
3619H



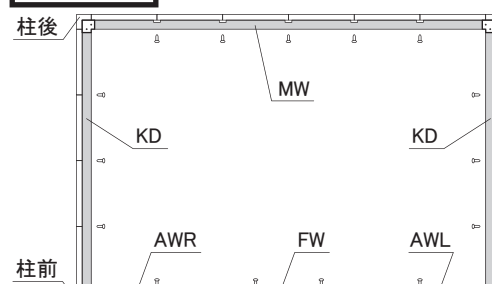
2525H



3125H

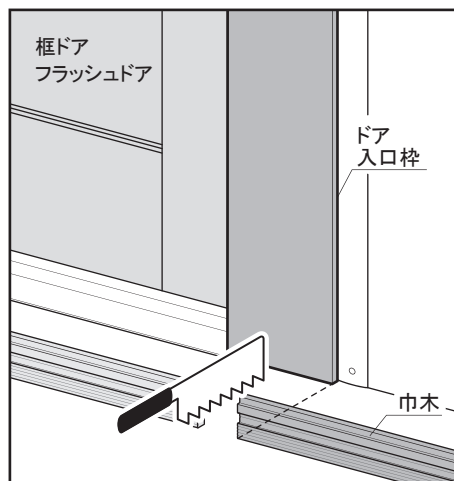
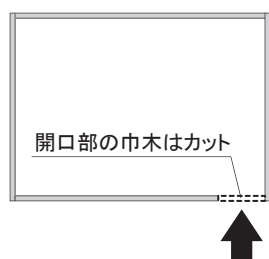


3625H

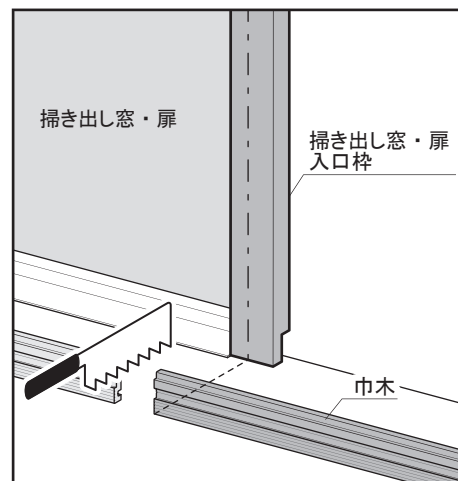


22. 巾木の取付

①巾木は開口取付部の長さ調整が必要です。巾木を一度当てて、長さを確認の上カットしてください。

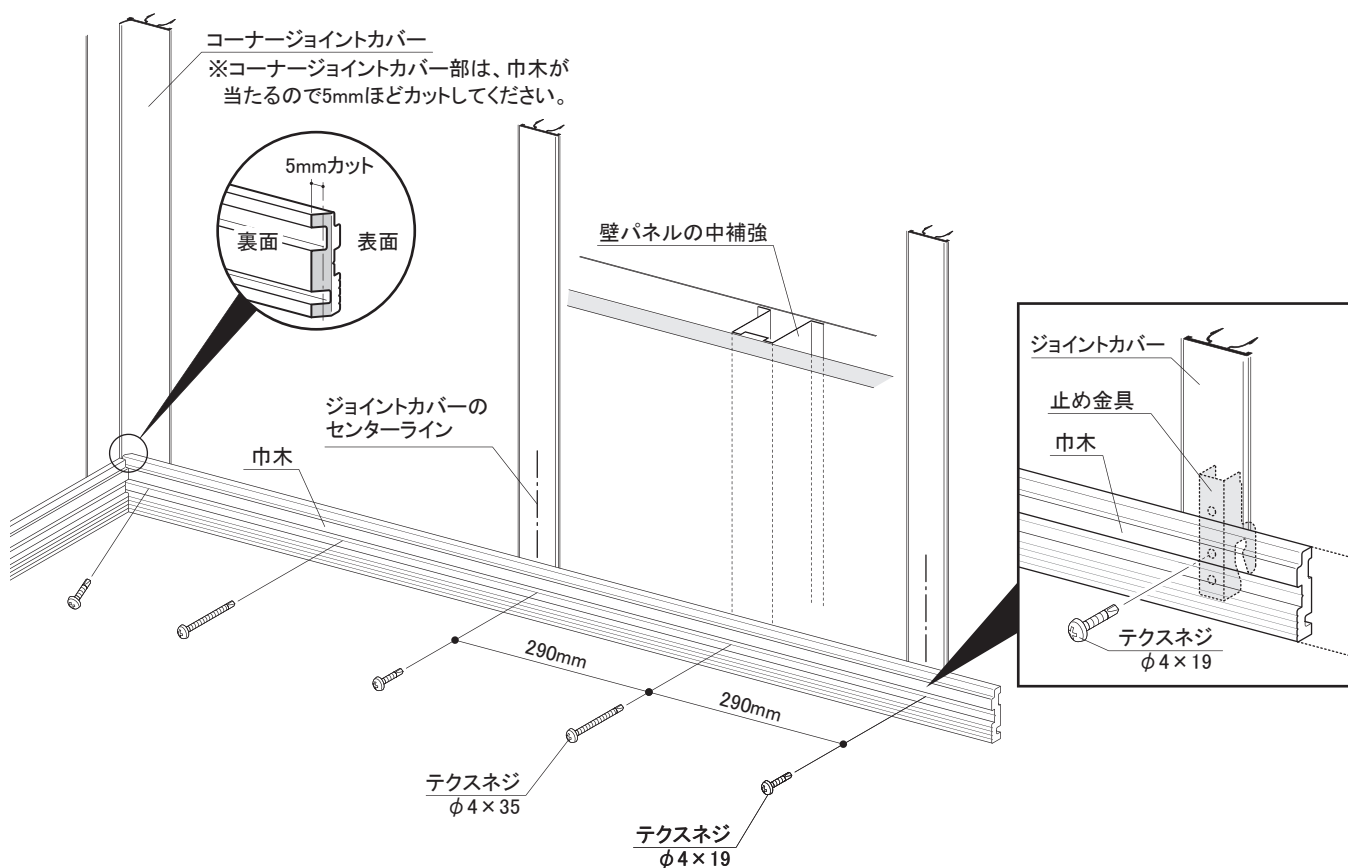


＜框ドア・フラッシュドア＞
入口枠に合わせてカット
(巾木をドア入口枠に合わせます)

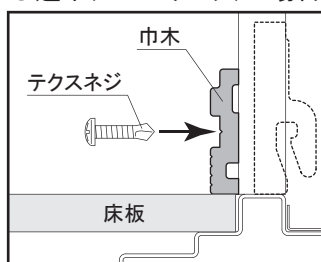


＜掃き出し窓・壁面扉＞
入口枠の中心あたりに合わせてカット
(巾木を入口枠に差し込みます)

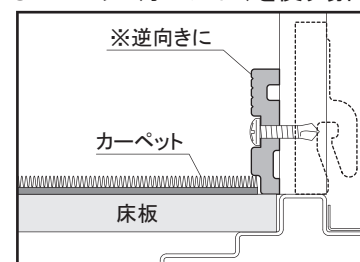
②巾木は、テクスネジ $\phi 4 \times 19$ でジョイントカバーのセンターをねらい止め金具と固定し、テクスネジ $\phi 4 \times 35$ で内壁のセンターをねらい壁パネルの中補強に固定します。



●通常(フローリング)の場合



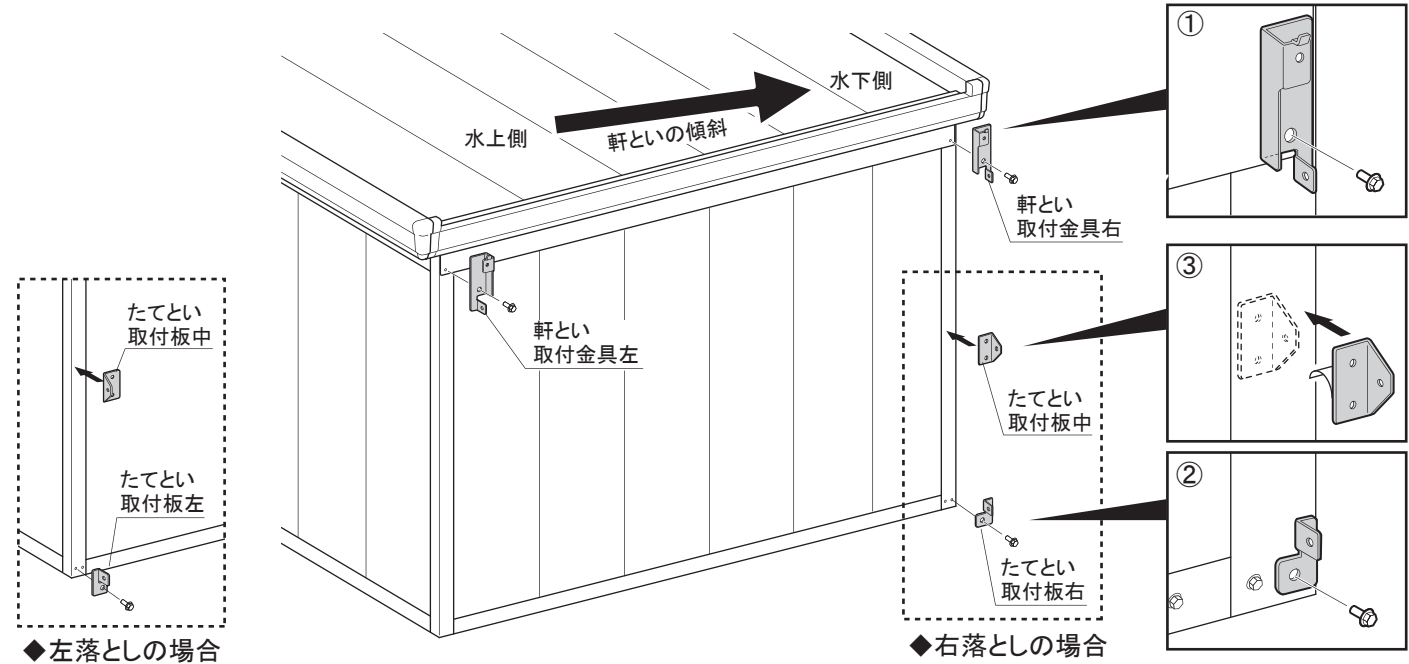
●カーペット(オプション)を使う場合



23. 雨といの取付 ※図は右落として説明します。落とし位置が逆の場合は、たてといの取付・軒といの傾斜が反対になります。

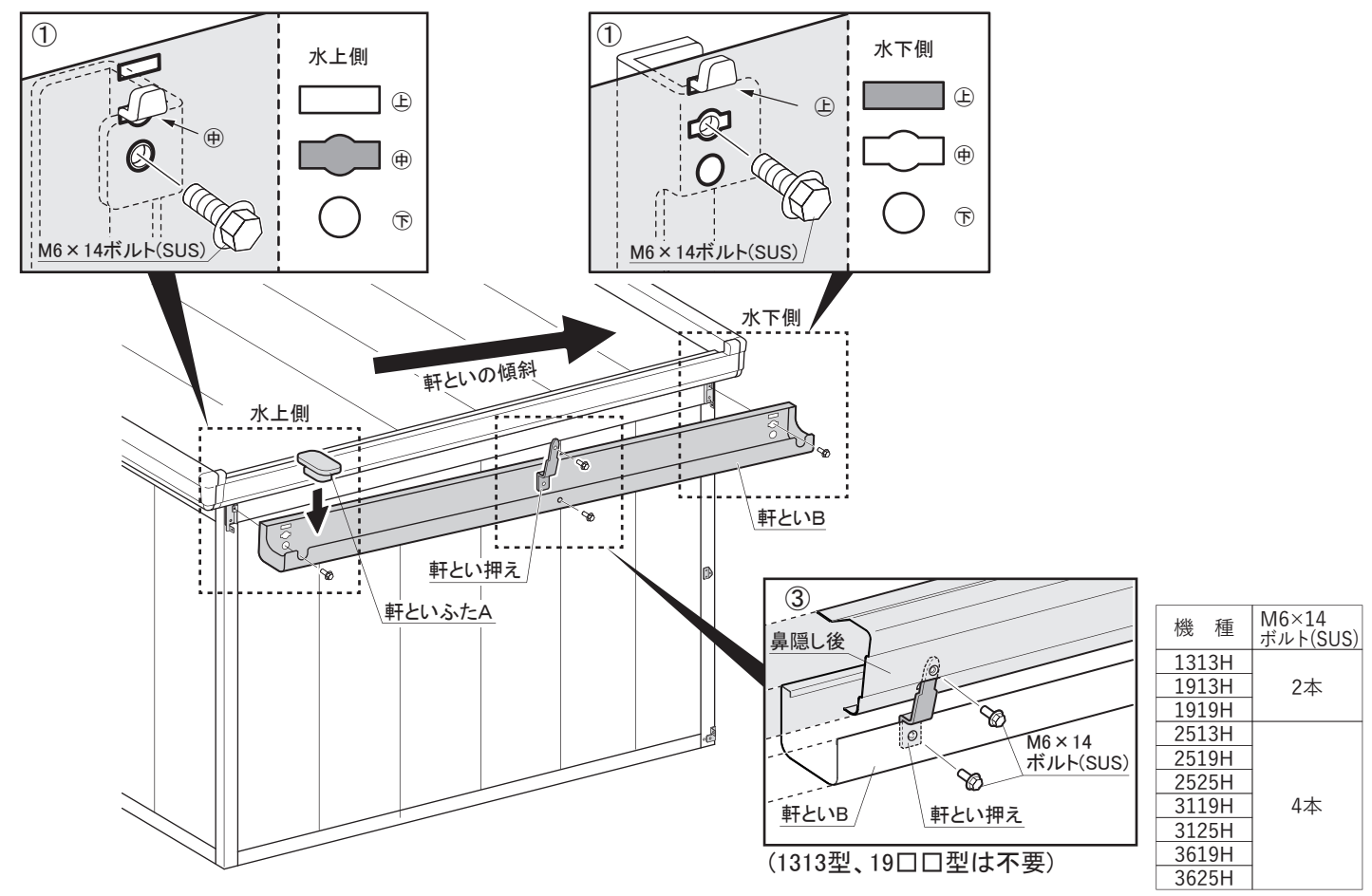
23-1. 金具の取付

- ① 桁後と柱をとめているM6ボルトをはずし、軒とい取付金具左・右をM6ボルトで取り付けます。
- ② 土台後の外側のM6ボルトをはずし、右落としの場合はたてとい取付板右を、左落としの場合はたてとい取付板左を取り付けます。使用しないたてとい取付板右・左は余ります。
- ③ たてとい取付板中を上下の金具に合わせて柱の真ん中に、両面テープまたはテクスネジφ4×10で取り付けます。



23-2 軒といの取付

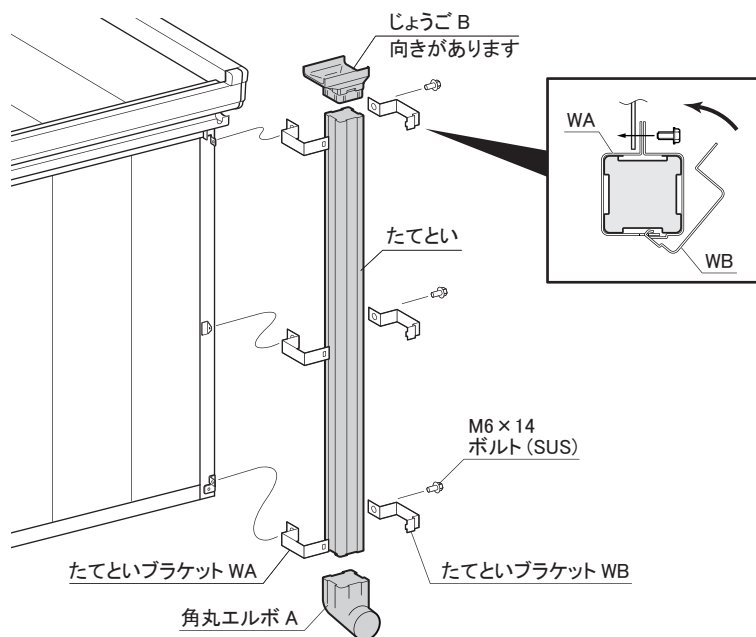
- ① 軒といBは、勾配がつくように水下側は㊦の穴、水上側は㊤の穴に軒とい取付金具左・右のツメを引っかけて、M6×14ボルト(SUS)で取り付けます。
- ② 軒といふたAを軒といBの水上側の穴に上からはめ込みます。
- ③ 軒とい押えを鼻隠し後の角穴に差し込んでM6×14ボルト(SUS)で軒といに取り付けます。※1313型、19□口型は不要です。



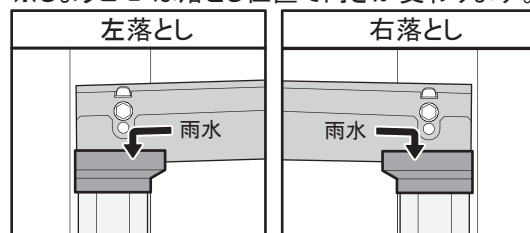
機種	M6×14ボルト(SUS)
1313H	2本
1913H	
1919H	
2513H	4本
2519H	
2525H	
3119H	
3125H	
3619H	
3625H	

23-3. たてといの取付

- ① たてといの上部にじょうごB、下部に角丸エルボAをはめます。
- ② たてといブラケットWAの角穴にたてといブラケットWBのツメを引っかけてたてといをはさみ、M6×14ボルト(SUS)で軒とい取付金具とたてとい取付板中・左右に取り付けます。



※じょうご B は落とし位置で向きが変わります。



M6×14 ボルト (SUS) : 3 本

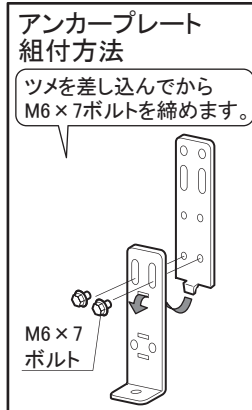
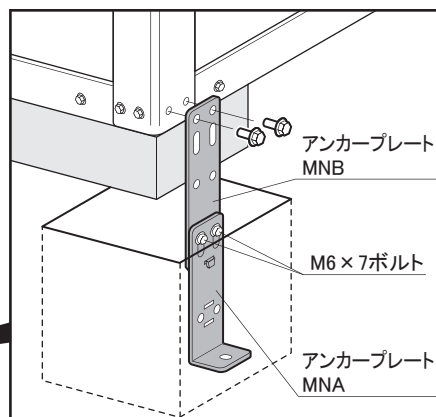
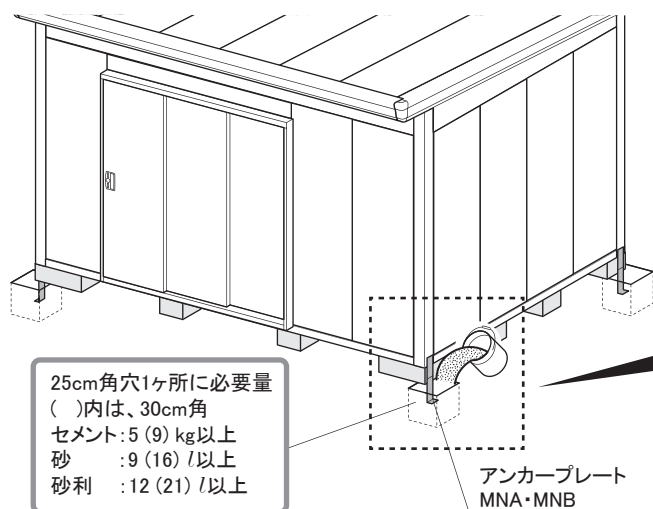
24. アンカー工事（置基礎の場合のみ）

※転倒防止のためにアンカー工事は必ずおこなってください。

●地盤が土の場合

4 隅に25(30)cm角の穴を掘り、柱についているM6ボルトをはずしてアンカープレートを取り付け、コンクリートを打ち込みます。角穴の大きさはP2、P3の基礎図を参照してください。

※強風地に設置する場合は角穴を大きくしてください。 ※基礎高は100～150mmに対応可能です。

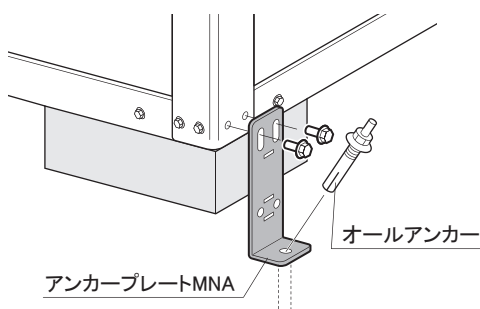


M6×7 ボルト : 8 本

●地盤がコンクリートの場合

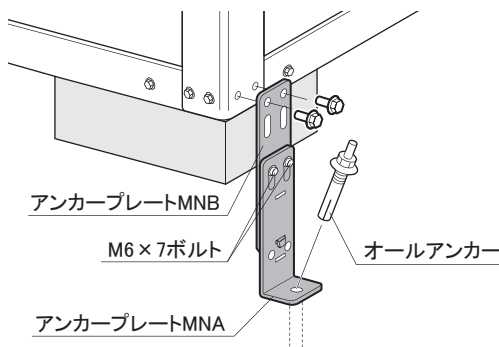
柱についているボルトをはずし、アンカープレートを取り付け、M10オールアンカー(市販品)で固定します。

■基礎高100～120mmの場合



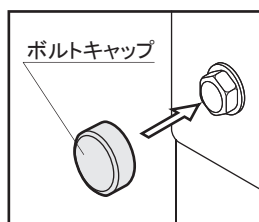
■基礎高135～175mm、190mmの場合

(※MNA、MNBの組み替えで長さを調節してください。)



25. 完成

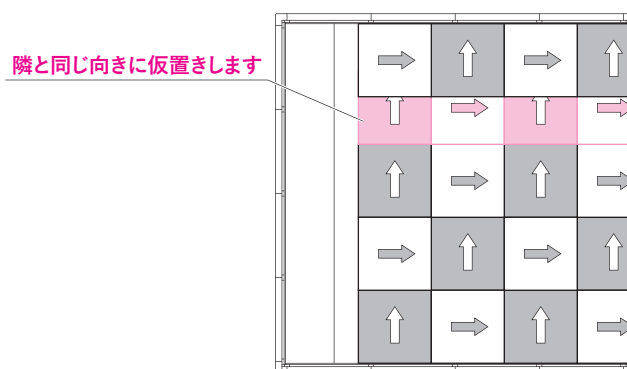
- ①外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。
- ②部品箱内の機種シールを所定の位置に貼り付けます。
- ③組立が完了したら、部品箱内の保管袋に取扱説明書・組立説明書を入れ、大切に保管してください。
※組立後は転倒のおそれがあるため庫内をカラの状態にしないでください。



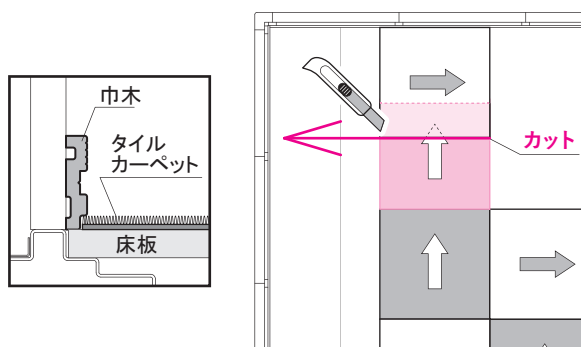
タイルカーペット（オプション）施工手順

施工手順

- ①床面を掃除してください。
- ②カーペットを仮置きします。
※貼り付けは、図のように市松貼りしてください。裏面の矢印を確認しながら、必ず矢印を一定方向に向けてください。
※カーペットが巾木の下部段付けに入るように施工してください。
- ③両面テープ(薄手)もしくは接着剤を使用してカーペットを貼り付けます。
※カットが必要になるカーペットの隣は仮置きしてください。(下図の   位置)



- ④巾木にカーペットをはめ、③で仮置きしたカーペットに重ねます。重ねたカーペットを定規代わりにし、仮置きしたカーペットをカットします。
※カーペットは表側(パイル側)からカットし、裏面の層がカットされなかった場合はむしり取らず必ずカッターで切り離してください。



- ⑤カットしたカーペットを壁際になるように貼り付けます。

